

ISSN 0386-5304

No.27 Mar.2009

Bulletin of
The Hiroshima Botanical Garden

Published by

The Hiroshima Botanical Garden
(Municipal)
Kurashige, Saeki-ku, Hiroshima
Japan

CONTENTS

Sera, T., Takasugi, S., Takeuchi K., Wakaki, S. and Yoshino, Y. : Notes on the species of subgenus <i>Allagospadonopsis</i> Briq. (Lamiaceae), recorded in Hiroshima Prefecture	1 - 5
Yoshino, Y. and Sera, T. : A new locality of <i>Diphylleia grayi</i> Fr.Schm. (Berberidaceae) and <i>Physaliastrum savatieri</i> (Makino) Makino (Solanaceae) in Hiroshima Prefecture.....	7 - 11
Sera, T. : Memoranda for the Flora of Hiroshima Prefecture (5)	13 - 23
Hitotsubashi, K., Kitamoto, T., Imamura, E., Inoue, N. and Sera, T. : Flora of Itsukaichi-Kouchi area in Hiroshima City (I)	25 - 46

目 次

世羅徹哉・高杉茂雄・武内一恵・若木小夜子・吉野由紀夫：アキノタムラソウ亜属の 広島県新産種	1 - 5
吉野由紀夫・世羅徹哉：広島県のサンカヨウ (<i>Diphylleia grayi</i> Fr.Schm.) の新産地と アオホオズキ (<i>Physaliastrum sabatieri</i> (Makino) Makino)	7 - 11
世羅徹哉：広島県フロラ覚書 (5).....	13 - 23
一橋賢三・北本照子・今村 撰・井上尚子・世羅徹哉：広島市五日市河内地区の 植物相 (I)	25 - 46



アキノタムラソウ亜属の広島県新産種*

世羅徹哉¹⁾・高杉茂雄²⁾・武内一恵³⁾・若木小夜子⁴⁾・吉野由紀夫⁵⁾Notes on the species of subgenus *Allagospadonopsis* Briq. (Lamiaceae), recorded in Hiroshima Prefecture*Tetsuya Sera¹⁾・Shigeo Takasugi²⁾・Kazue Takeuchi³⁾・Sayoko Wakaki⁴⁾・Yukio Yoshino⁵⁾

広島県植物誌の種子植物目録(関ほか 1997)によると、広島県内で自生が確認されているアキノタムラソウ亜属(*Allagospadonopsis* Briq.)の種は、アキノタムラソウ(*Salvia japonica* Thunb.) 1種である。1997年以降にも、別の種の自生が記録されたことはない。ところが、著者の高杉は、1985年頃に県内にアキノタムラソウとは異なると思われる種が生育していることに気づき観察を続けていた。このたび花の詳細な観察を行った結果、この種がアキノタムラソウとは明らかに異なる分類群であることを確認し(以下 type T と呼ぶ)、その生育地と体細胞染色体を観察したのでその結果を報告する。

自生地調査

自生地調査は、2007年6月26日、2008年6月4日及び13日に行った。自生地は、広島県安芸太田町の太田川支流が作った溪谷内であった。生育数は発見当初に約100株あり、徐々に殖えているようであった。2008年の調査時に、それまでに確認していた生育場所より上流側数100mの区間に新たな5集団を確認した結果、type T は太田川支流の溪谷内で約1kmの間に6集団、数百株程度が自生していることが分かった。花は、2007年の調査時にはすでに花期は終了していたが、2008年6月4日には、70~80株が開花中で、6月13日には満開を少し過ぎ

た状態であったことから、type T の開花期は6月上旬の2週間程度であることがわかった。最大の集団はおよそ6m×10mの大きさで、その中に100本以上の花茎があり、実生で繁殖したと思われる幼個体も多数見られた。

生育環境は、落葉樹林中にある溪谷で、増水時には冠水すると思われる川岸であった。生育場所は、川岸の母岩上で、浅い土壌の中にヤシャゼンマイやヒメカンスゲなどととも根を張っていた(図1A)。最大の集団で調査した出現種は次の通りであった。高木:エゴノキ、コハウチワカエデ、ミズキ、アカシデ、コナラ、ウラジロガシ、カスミザクラ。中低木:クロモジ、マルバアオダモ、ヒサカキ、キシツツジ、カワラハンノキ、アケビ、ノイバラ、モリイバラ。草本:ゼンマイ、ヤシャゼンマイ、シケシダ、ナメラダイモンジソウ、シラネセンキュウ、ミヤマヨメナ、ニガナ、ススキ、ヒメカンスゲ、ショウジョウソグ。

形態的特徴

最大の集団中で、最もよく開花していた個体を観察した結果は次の通りであった。地表または地中を浅く横走る短い根茎があり、その先にロゼット状に葉を束生した。茎は1本で横断面は四角形、微細な下向きの毛があり、直立して先端の花序を含め高

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No. 87.

1) 広島市植物公園 731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495

2) 734-0001 広島市南区出汐2丁目4-68-304

3) 731-5137 広島市佐伯区美の里1丁目16-4-302

4) 732-0066 広島市東区牛田本町2丁目4-15

5) 東和環境科学株式会社 734-0013 広島市南区出島2丁目10-37

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden, No. 27: 1-5, 2009.

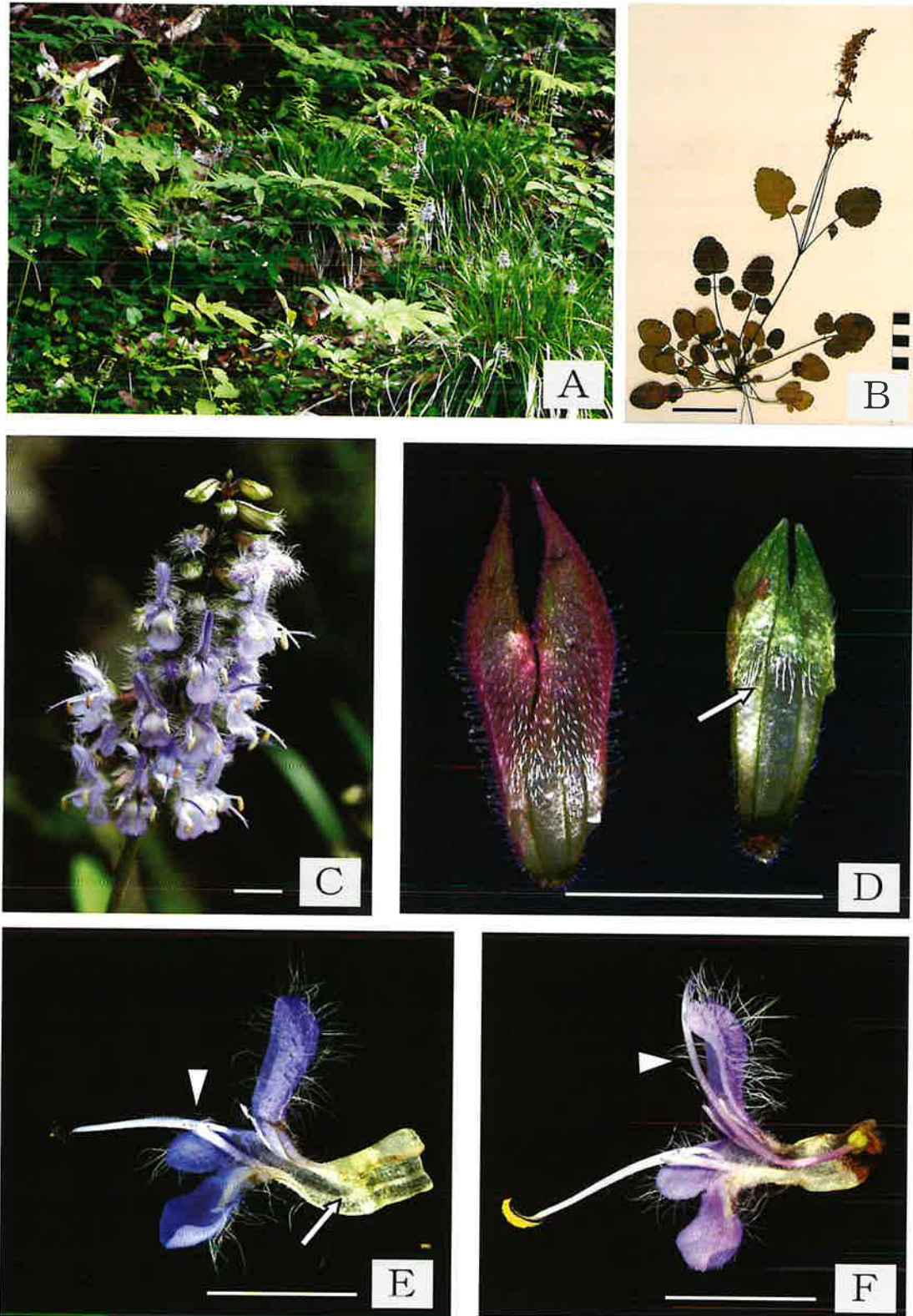


Fig. 1. Habitat and morphological characteristics of *Salvia* sp.(type T). A, habitat. B, specimen observed. C, inflorescence in full bloom, June 4th, 2008. D, hairs on inside of under lobe of calyx tube, left; *Salvia omerocalyx*, puberulent throughout inside, right; *Salvia* sp.(type T), white arrow indicates long pilose hairs. E and F, longitudinal section of flower of type T, E; in female mature stage, white arrow indicates a ring of hairs near middle inside of corolla tube and arrowhead indicates hairs on the base of half-anthers, F; in male mature stage, arrowhead indicates style curving upward along upper lobe of corolla. Scale bars indicate 5 cm in B and 1 cm in C ~ F.

さ40 cmであった。基部から約15 cmのところから1対の茎葉をつけ、その葉腋にも1本ずつの茎を生じ先端に花序をつけていた(図1B)。基部の葉は約20個あり、それらのほとんどは3出複葉で、側小葉のないものや5出複葉のものが少数混生した。葉柄は長さ3.5~9.5 cmで全体に短毛をやや密生するほか基部には多くの開出する長毛があった。葉身部は長さ6.0~12.5 cm、幅1.5~3.5 cm、やや厚く、表面は濃緑色で光沢があり、短毛を散生して小腺点が多数あった。裏面は淡緑色で葉脈が隆起し、腺点と短毛があった。頂小葉は、長さ0.5~1.5 cmの柄があり、葉身部は長さ1.5~3.5 cm、幅1.5~3.0 cmの卵形または卵円形でしばしば左右不相称であった。先端は円形、底部は切形または浅心形で縁には浅い波状鋸歯があった。側小葉は短柄があり、卵形または卵円形で長さ、幅ともに0.5~1.5 cm、縁には少数の浅い鋸歯があった。茎葉は1対のみで、側小葉の片方が欠落した3出複葉で(図1B)、葉柄は長さ4.0 cm、頂小葉の葉身部は長さ4.0 cm、幅3.5 cmの卵形で先端は円形、葉底は左右不相称の広い楔形、鋸歯縁。側小葉はほとんど無柄で長さ1.5 cm、幅1.0 cmの楕円形で先端は鋭形。基部の葉と比べ、葉柄部の長毛や、葉身部

の短毛がより多かった。花期は6月上旬で、数個の花からなる仮輪が茎の先端部に密生して長さ2.5~7.5 cmの円錐状花序を作り、花はほぼ偏向していた(図1C)。花序軸は短毛を密生し、仮輪の基部には苞があった。小花柄は長さ2 mmで密に短毛があった。萼は、基部から2/3のところまで上側に大きく開いた2唇形で、基部から下唇先端までの長さは約7 mm。上唇の先端部は小突起のある円形で、下唇の先端部は鋭形で2裂していた(図1D)。外面には腺毛はなく粗毛を散生し、内面の中央部には白色長毛を輪生していた(図1D)。花冠は淡い青紫色で外面には多数の長軟毛があり、大きく唇形に開き、自然状態での高さ(上唇先端から下唇先端までの長さ)は約11 mmであった。筒部の長さは6 mm、上下唇の長さは5 mm、下唇は3裂し、中央裂片は大きく下垂して先端は凹み、中央部は白色を帯びていた。筒部内面の環毛は中央部近くにあった(図1E)。開花期間中、2個の雄蕊は花の外にまっすぐに突き出ていたが(図1C, E, F)、雌蕊は開花初期には花冠上唇に沿うように湾曲し(図1F)、後期には雄蕊と同様にまっすぐに突出した。雄蕊の花糸は長さ約2.5 mm、葯隔の長さは、下側が1.5 mm、上側が約6.5 mmで基

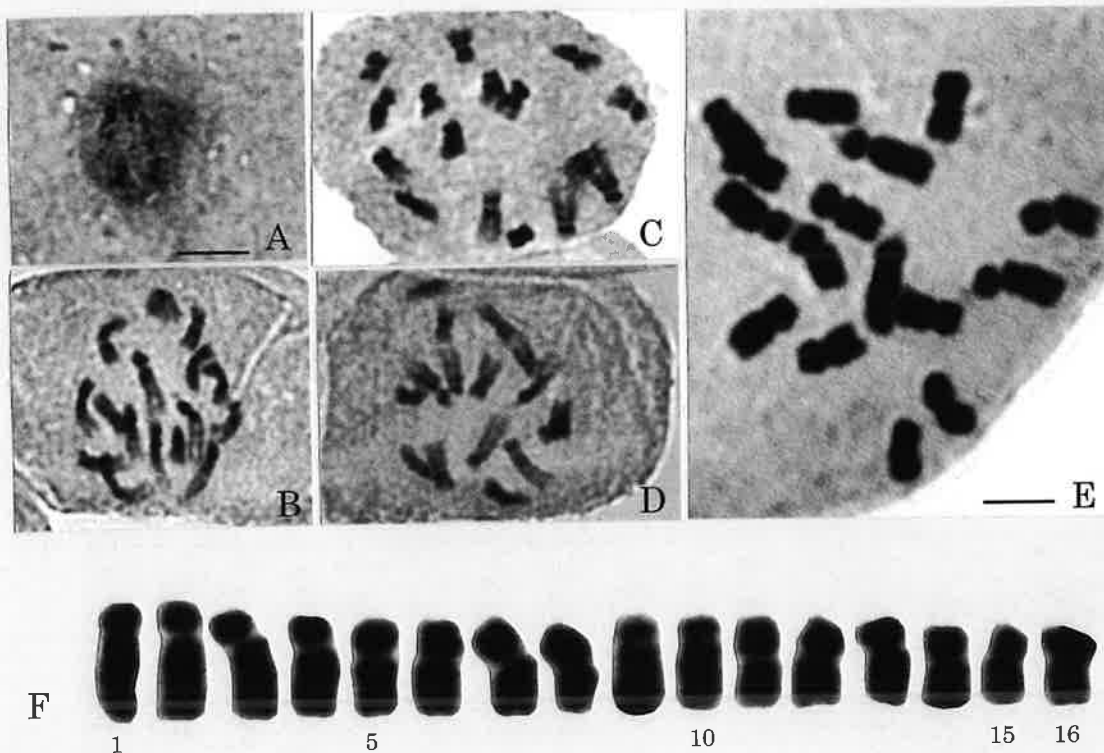


Fig. 2. Somatic chromosomes of *Salvia* sp. (type T). A, restig stage. B, prophase. C and D, prometaphase. E and F, metaphase. Scale bars indicate 5 μ m in A~D and 2 μ m in E and F.

部にはわずかに長毛があった (図 1E). 分果は, 楕円形で長さ 2 mm, 扁平なものと, やや 3 稜形のものがあった.

染色体

材料および方法

染色体の観察は, 分裂細胞を用い, 次の方法で行った. 伸長中の根端を 0.5~1.0 cm 切り取り, 速やかに約 20°C の 2mM 8-hydroxyquinoline に 4 時間浸漬し前処理を行った. この根端を 0°C の 45% 酢酸で 10 分, 次に 0°C のカルノア変液 (99.9% エチルアルコール: 酢酸: クロロホルム = 2:1:1) で 10 分固定し, カルノア変液のまま冷凍庫 (-20°C) で保管した. 観察は固定後 1 週間以内に行った. 取り出した資料を 0°C の 45% 酢酸に 10 分浸漬した後, 45% 酢酸:1N 塩酸 = 1:2 の混合液 (60°C) で 20 秒間解離処理を行った. 染色は, 2% 酢酸オルセインで約 10 分間行い, 押しつぶし法で一時プレパラートを作成して観察した. 染色体の形態の表記は, 田中 (1977) に従った.

結果

静止期核の染色体は, 核内に分散する染色小粒と約 10 個の小さく不整形の染色中央粒として観察され, 複雑染色中央粒型であった (図 2A). 体細胞分裂前期では, 16 個の染色体があり, それらすべての両腕基部に早期凝縮部が観察され, 基部型の形態を示した. 早期凝縮部は, 一部の染色体の介在部にも認められた. また, それらの大きさや凝縮の早晩は染色体によって様々であった (図 2B, C, D). 分裂期中期では $2n=16$ を算定した (図 2E). 染色体の大きさは, 3.0 μm ~2.0 μm の範囲にあって, 大きさの

変異は漸变的であった (図 2F). 染色体の腕比に関しては, 中部動原体型, 次中部動原体型, 次端部動原体型が観察され, 最大の染色体は次端部型であった. 明瞭な付随体は観察されなかった (図 2E, F).

種の同定に関する考察

Murata and Yamazaki (1993) は, 日本に自生するアキノタムラソウ亜属に 6 種 7 変種 8 品種を認めている. また, これら 6 種が萼の形態, 葉のつき方などによって Japonicae 節 (Ser. *Japonicae* C.Y.Wu. (1977)) と Appendiculatae 節 (Ser. *Appendiculatae* C.Y.Wu. (1977)) に分類されるとしている (表 1). この分類に用いられた主な形質について, 既知の 6 種と今回広島県内で自生を確認した植物 (type T) とを比較した結果 (表 1), type T は既知のいずれの種とも主な形質の組み合わせが異なっていた. 一方, 染色体の形態については, Funamoto et al (2000) によると, 本亜属の 6 種 2 変種はすべて共通で, 静止期核では複雑染色中央粒型, 体細胞分裂前期では基部型を示し, 染色体数は $2n=16$ で体細胞分裂中期の染色体は長さに関して漸变的に変異するとしている. type T の染色体の形態も, これら 6 種と同様であった. 以上のように, 今回確認したアキノタムラソウ亜属の植物は, 染色体の形態からは他種と区別されず, 外部形態の特徴からは, 引用文献にある範囲で, これまで日本で記載されたいずれの種にも該当しなかった.

ところが本亜属の植物は種内で形態の変異が大きく (村田 1952, 1981), 種間で類似する形態が多いなどの理由で分類に混乱を生じていることが指摘

Table 1 Summary of important characteristics* in the classification of the subgenus *Allagospadonopsis* Briq. (*Salvia*, Lamiaceae)

series	species	plant height (cm)	number of cauline leaves	form of radical leaves	flowering period (month)	hairs on inside of calyx tube	color of corolla	corolla length (mm)	position of ring of hairs in corolla tube	length of stamens and style compared with upper corolla
Japonicae	<i>S. japonica</i>	20~80	several pairs	simple, ternate, pinnate	Jul.~Nov.	long pilose on upper half	bluish purple	10	base	slightly longer
	<i>S. lutescens</i> <i>sesu lato</i>	40~70	several pairs	ternate, pinnate	Jun.~Aug.	long pilose on upper half	pale yellow, violet, pale blue	8~10	middle inside	much longer
	<i>S. isensis</i>	10~60	1~few pairs	pinnate	Jul.~Nov.	long pilose on upper half	pale bluish purple	8	middle inside	much longer
	<i>S. ranzaniana</i>	10~20	several pairs	pinnate	Apr.~Jun.	long pilose on upper half	white	8	middle inside	slightly longer
Appendiculatae	<i>S. pygmaea</i>	5~30	0	pinnate	Mar.~Jun.	puberulent throughout	white	5	middle inside	much longer
	<i>S. omerocalyx</i>	10~30	0	ternate, pinnate	May.~Jul.	puberulent throughout	deep violet	12	middle inside	much longer
?	<i>S. sp.</i> (type T)	10~40	1 pairs	ternate, pinnate	Jun.	long pilose on upper half	pale bluish purple	11	middle inside	much longer

*cited from Murata and Yamazaki (1993).

series *Japonicae*
series *Appendiculatae*

されている(櫻井・石澤 2001)。今回の観察で type T は、節を区分する形質のうち、萼筒内の毛の状態では Japonicae 節の特徴を持つ反面、茎葉の状態は Appendiculatae 節の特徴を示した。一方でこれらの形質については、type T とは反対に、萼筒内の毛の状態は Appendiculatae 節の、茎葉の状態は Japonicae 節の特徴を示す例が報告されている(櫻井・石澤 2001)。また、櫻井(2003, 2008)は、新潟県に産するアキノタムラソウとミヤマタムラソウは形態的に非常に多様で、特に後者では茎葉の形態に、地理的または生育地の環境による分化が生じつつあることを指摘している。以上のことから、type T の分類学的な位置づけを明らかにするためには、この植物の変異をより明確にするとともに、本亜属内の再検討をする必要があるかもしれない。なお、本亜属には、狭い地域に分布している種が多い。比較的広く分布する広義のナツノタムラソウも、変種や品種が狭い地域にすみ分けていることが知られている(福岡・黒崎 1982)。これまで、鳥取県を除く中国地方からは、本州以南に広く分布するアキノタムラソウが知られているだけであった。type T は、明らかにアキノタムラソウとは異なる分類群であると思われるので、近縁種の地理的分布と種分化や系統関係を解明する上で貴重な発見と言える。type T が、愛知、三重、和歌山の3県からしか知られていないシマジタムラソウ(Murata and Yamazaki 1993)に外見的に類似していることは、ヤチシャジン(*Adenophora palustris* Komar.)、ハイルリソウ(*Omphalodes prolifera* Ohwi)、ミカワシオガマ(*Pedicularis resupinata* L. var. *microphylla* Honda)などが愛知県と広島県に隔離分布している事実と符合して興味深い。今後、この植物の分類学的な位置づけを明らかにするための調査を行う予定である。

Summary

A taxon of subgenus *Allagospadonopsis* Briq. which was clearly different from *Salvia japonica* Thunb. was found to be growing naturally in Hiroshima prefecture for the first time. The taxon had characteristics implying not only Ser. *Japonicae* but also Ser. *Appendiculatae*. The chromosome number of the plant was determined as $2n=16$ and it showed the same chromosome morphology as the other taxa of the subgenus. It was suggested that the taxon should be important in order to clarify

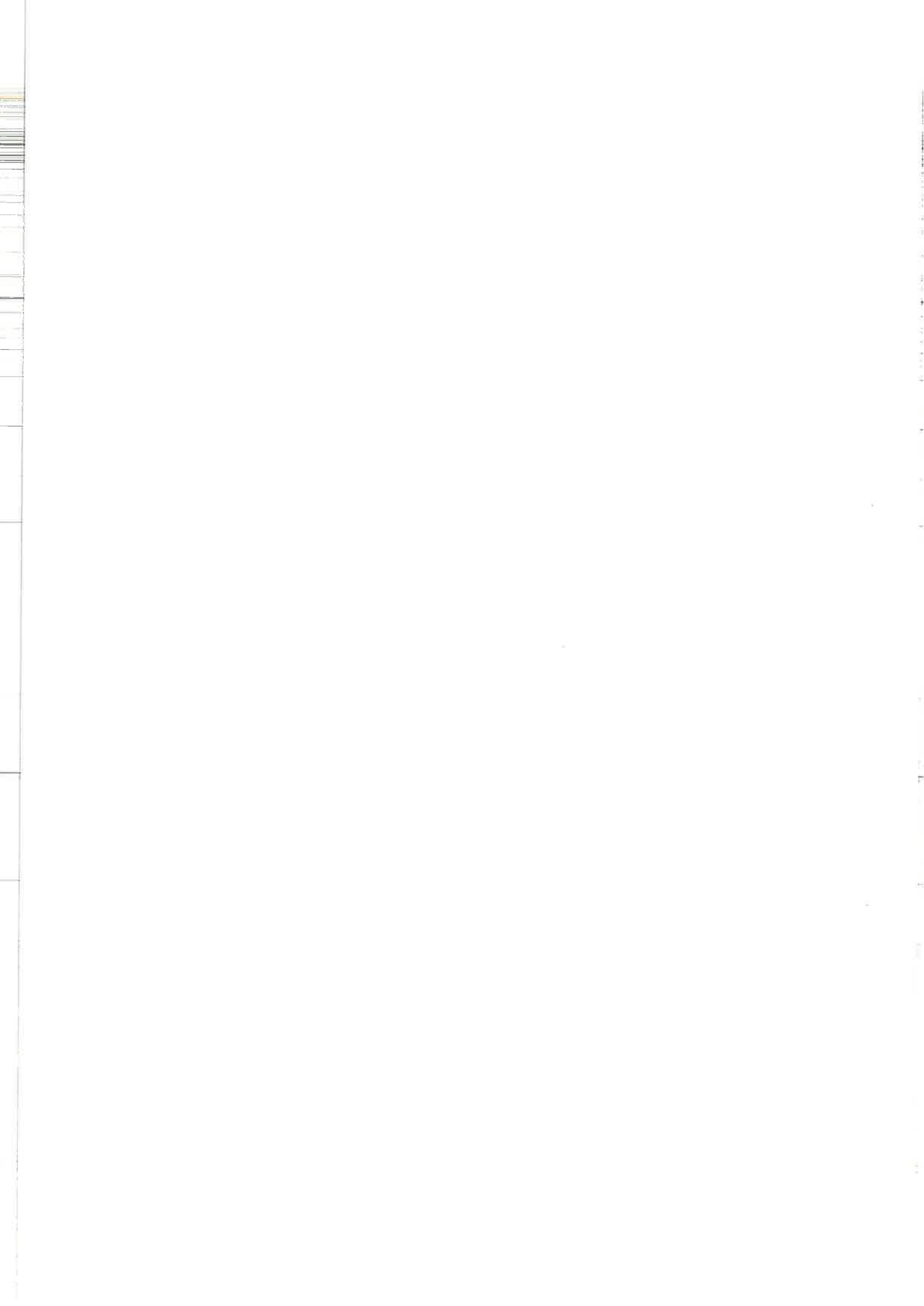
phylogenetical relationships among taxa of the subgenus.

謝 辞

本調査に用いたタジマタムラソウを提供いただいた京都府京丹後市の東山芳之氏、ミヤマタムラソウに関する資料をいただいた長岡市立科学博物館の櫻井幸枝氏、また、本稿をまとめるにあたり、貴重なご助言を賜った頌栄短期大学の黒崎史平博士に深謝します。

引用文献

- 福岡誠行・黒崎史平 1982. 本州西部植物地理雑記 3. 頌栄短大紀要 13: 51-58.
- Funamoto, T., Zushi, M., Harana, T. and Nakamura, T. 2000. Comparative karyomorphology of the Japanese species of *Salvia* L. (Lamiaceae). *J. of Phytogeography and Taxonomy* 48: 11-18.
- 村田源 1952. 日本及台湾産アキノタムラソウ亜属. *Acta Phytotax. Geobot.* 14: 184-190.
- 村田源 1981. シソ科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫(編). 日本の野生植物Ⅲ草本 合弁花類, pp.71-91. 平凡社, 東京.
- Murata, G. and Yamazaki, T. 1993. *Salvia* L. Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D.E. and Ohba, H. (eds.). *Flora of Japan III a*, pp.302-307. Kodansha, Tokyo.
- 櫻井幸枝 2003. 新潟県に生育するミヤマタムラソウの茎葉の形態変化. 長岡市立科学博物館研究報告 38: 5-12.
- 櫻井幸枝 2008. 新潟県産アキノタムラソウの形態に関する報告. 長岡市立科学博物館研究報告 43: 23-28.
- 櫻井幸枝・石澤進 2001. 新潟県及び本州中部地域に生育するアキノタムラソウ亜属の分類と分布. 長岡市立科学博物館研究報告 36: 7-34.
- 関太郎・吉野由紀夫・渡辺泰邦・世羅徹哉・浜田展也・伊藤之敏 1997. 種子植物目録. 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編). 広島県植物誌, pp.77-566. 中国新聞社, 広島県.
- 田中隆荘 1977. 新核型論. 小川和朗・黒柱和昌・小池聖淳・佐藤正一(編). 続細胞学体系 3 植物細胞学, pp.293-326. 朝倉書店, 東京.



広島県のサンカヨウ (*Diphylleia grayi* Fr.Schm.) の新産地とアオホオズキ
(*Physaliastrum sabatieri* (Makino) Makino)*

吉野由紀夫¹⁾・世羅徹哉²⁾

A new locality of *Diphylleia grayi* Fr.Schm. (Berberidaceae) and *Physaliastrum savatieri* (Makino) Makino (Solanaceae) in Hiroshima Prefecture*

Yukio Yoshino¹⁾ and Tetsuya Sera²⁾

はじめに

広島県の植物相については、1997年に広島大学宮島自然植物実験所と比婆科学教育振興会によって「広島県植物誌」が刊行され、県内の植物相がほぼ明らかにされた。また、2004年には「改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003」が刊行され、植物誌作成後に新たに生育が確認された種なども検討された。サンカヨウについては、県北東部の産地が示されるとともに、広島県の準絶滅危惧種とされている。

近年、広島県廿日市市吉和の西中国山地でサンカヨウの新たな生育地が発見され、著者らも自生地を確認した。また、その自生地などで、広島県新産となるアオホオズキの生育も確認したので合わせて記録、報告する。

サンカヨウと県内の生育地

サンカヨウ (*Diphylleia grayi* Fr.Schm.) はメギ科の多年生草本で、樺太、北海道、本州の亜寒帯から温帯にかけて分布し、主に針葉樹林や落葉樹林の林床に生育し、日本海側の多雪地帯の要素である。本種については、奥山 (1966, 1983) や Horikawa (1976), Ying, T.-S. et al (1984) などが分布図を作成し、日本や樺太における分布が示されている。

広島県にサンカヨウが生育することが判ったのは、三上幸三氏が1950年代に比婆郡高野町(現：庄原市高野町)猿政山(大万木山か?)で生育を確

認したことによる。この成果は Horikawa (1976) の分布図に示されている。土井 (1983) や渡辺ほか (1998) には、庄原市高野町における産地や生育状況の写真などが示されている。また、吉野は1995年に出版された「広島県の絶滅のおそれのある野生生物」で、広島県における本種の分布図を示している。

島根県では島根県環境生活部景観自然課 (2004) に、主要な確認地として島根県東部の2つのメッシュが示されているが地名は書かれていない。また、杵村 (2005) は頓原、仁多と記録している。島根県東部の2つのメッシュはこの地名に関わる地域であり、頓原、仁多はいずれも広島県との県境にある大万木山と猿政山のことと思われる。

これまで判明していた広島県のサンカヨウの生育地は、いずれも県の北東部で島根県と接する中国山地の脊梁部のブナ林域であったが、今回確認された廿日市市吉和の生育地は日本における本種の分布の西限と思われる(図1)。この生育地を発見したのは、広島県の植物に詳しい真鍋節夫氏で、1998年5月ということである。その後、三上幸三氏や吉本悟氏らも自生地を訪れている。また、吉和地域にサンカヨウが自生していることは、真鍋氏のホームページで紹介されたほか、2001年に出版された「よしわの植物ガイド」にも日本での分布の南西限として掲載されている。

著者らは、2003年6月に、吉本悟氏の案内で、広島大学名誉教授の関太郎博士、広島城北学園の松

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No. 88

1) 東和環境科学株式会社 734-0013 広島市南区出島2丁目10-37

2) 広島市植物公園 731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden, No. 27 : 7-11, 2009.

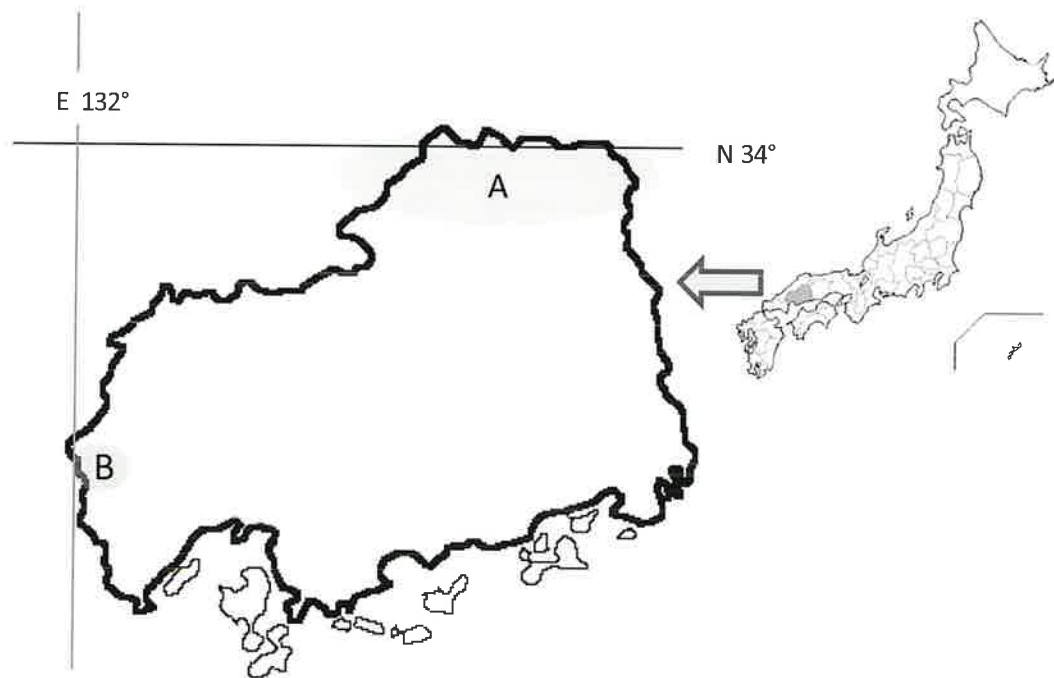


Fig.1. Distribution area of *Diphylleia grayi* Fr.Schm. in Hiroshima Prefecture. A, area known since before. B, area newly reported in this study.

井健一氏、広島市植物公園の山本昌生氏、井上尚子氏らと現地を訪れ果実をつけた本種の自生を確認したほか、2008年6月にも再度調査を行い、2003年と同様に結実した個体を確認した(図2)。生育地は、吉和冠山の北西部に位置し、太田川支流主川の源流部で海拔高度は約950mであった。証拠標本は広島市植物公園(標本番号:HBG-12741)と東和環境科学(株)生物研究室(標本番号:yy-18062)に保管されている。

生育地の地質は、広島県地質図によると、古生代後期中帯の古生層であり、輝緑凝灰岩および輝緑岩(粘板岩を伴う)であった。周囲の林はスギの植



Fig.2. *Diphylleia grayi* Fr.Schm. with fruits at natural habitat in Yoshiwa.

林であるが、生育地は急峻な源流部のため植林されず、高木層をミズナラ、サワグルミ、ブナなどが覆う落葉樹林であった。また、表土が崩れやすく小規模な崩落がしばしば起きているようで、2008年の調査時には2003年に確認した群落が小さくなっていった。なお、著者らは2007年5月に、富沢由美子氏、近藤芳子氏、吉原礼子氏らとともに、更に1.5km西方の溪流沿いで本種の生育を確認した。この生育地は島根県境まで200mほどの位置にある小谷で、現時点での本種の西限であろう。

アオホオズキ

2003年6月に、著者らがサンカヨウの生育を確認した際、サンカヨウと同所で吉野が採集したナス科の植物がアオホオズキ(*Physaliastrum savatieri* (Makino) Makino)(標本:yy-18063)であった。この標本は、咲き始めの花の時期のものであったため、2008年6月及び同年9月に再び現地を訪れて果実を確認した(図3、標本:HBG-16114)。真鍋節夫氏は、2004年の花時の生育状況をホームページ上に紹介している。これによると数株が群生している様子がわかるが、2008年9月の調査時には、果実をつけた株は同所で1個体しか確認できなかった。6月の時点では、その下流域に少なくとも4株のナス科の植物が見られ、そのうち2株には花もあった

が、9月には確認できなかった。一方、山下容富子氏、香川千恵氏、徳満ミサ子氏は、2008年9月10日に、上記生育地から約2.5 km離れた林道沿いで果実をつけた本種2個体を発見し、世羅が9月19日に自生地でも本種を確認した(標本:HBG-15873)。広島県における本種の自生記録は今回が初めてである。

本種の分布については大井(1978)、山崎(1981)、Yamazaki(1993)らは関東から和歌山県にかけての本州の太平洋岸と四国に希に産するとしている。環境庁(1992)には、群馬、東京、神奈川、福井、山梨、岐阜、静岡、徳島、愛媛、高知、福岡、熊本、大分、宮崎の都県に分布するとされている。金井(1958)は日本の植物の分布型を5つの型に分け、第3型を襲速紀要素とし、ミツバコンロンソウ、ヒメシャラなど12種を挙げている。襲速紀要素を精査した村田・小山(1976)は前原(1931)にある小泉目録の101種のうち85種について、6つの分布型に分けている。アオホオズキはこのうちの「表日本を関東地方まで」の型と類似した分布型を示し、中央構造線の南側から関東地方に分布する。吉和のもみのき森林公園の芝生に生育するハルリンドウの分布もこの型であるが、これは芝地の造成時に混入し定着したと考えられる。

アオホオズキは従来中国地方からは報告がなかった。中国地方で初めて報告したのは杵村(2005)で島根県から報告している。広島県でこのような分布をする種としてはキレンゲショウマやシコクスミレなどがあり、分布の特異性から極めて貴重な種といえる。

本種は全国的に希産な種のため、環境省(2007)のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類に選定されている。また、多くの県でRDB種に指定されている。



Fig.3. Fruit of *Physaliastrum savatieri* (Makino) Makino at natural habitat in Yoshiwa.

指定している県とカッコ内にランクを示す。栃木県(Cランク)、群馬県(希少)、埼玉県(絶滅危惧Ⅱ類)、東京都(Cランク)、石川県(準絶滅危惧)、福井県(県域絶滅危惧Ⅰ類)、山梨県(絶滅危惧Ⅱ類)、長野県(絶滅危惧ⅠA類)、静岡県(準絶滅危惧)、愛知県(絶滅危惧Ⅱ類)、滋賀県(希少種)、京都府(絶滅危惧種)、奈良県(絶滅危惧種)、和歌山県(情報不足)、徳島県(絶滅危惧Ⅰ類)、愛媛県(絶滅危惧Ⅱ類)、高知県(絶滅危惧ⅠA類)、福岡県(絶滅危惧ⅠA類)、熊本県(絶滅危惧ⅠA類)、宮崎県(絶滅危惧ⅠA類)などである。広島県においても生育が確認されている地点数及び個体数とも少ないので、RDB種に指定し、保全の対象とする必要がある。

Summary

Diphylleia grayi Fr.Schm. which is a perennial herb had been known in northeast area in Hiroshima Prefecture. It was recently found on a headstream of Ohta River in Yoshiwa area, northwestern part of Hiroshima Prefecture. The new locality would be the western-most distribution of this species.

Physaliastrum savatieri (Makino) Makino was found in the same area and this is new record of the species in Hiroshima Prefecture.

謝 辞

今回の調査では、広島広島市東区在住の真鍋節夫氏から、サンカヨウの自生地情報をご教示いただいた。また、本文中に氏名を記した方々の他、広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所の坪田博美准教授、広島県立尾道東高等学校の浜田展也教諭、武内一恵氏、若木小夜子氏らの協力を得た。ここに感謝の意を表します。

引用文献

- 愛知県希少野生動植物実態調査策定委員会(編) 2008. 改訂愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドリスト. ネットデータ
土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148pp. 博新館, 広島県.
愛媛県貴重野生動植物検討委員会(編) 2003. 愛

- 媛県レッドデータブック 愛媛県の絶滅の恐れのある野生生物. 447pp. 愛媛県県民環境部環境局自然保護課, 愛媛県.
- 福井県福祉環境部自然保護課 (編) 2004. 福井県の絶滅のおそれのある野生生物 2004. 福井県レッドデータブック (植物編). 196pp. 福井県福祉環境部自然保護課, 福井県.
- 福岡県環境部自然環境課 (制作) 2001. 福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2001. 447pp. 福岡県総務部県民情報広報課, 福岡県.
- 群馬県環境生活部自然保護課 (編) 2001. 群馬県の絶滅のおそれのある野生生物, 植物編. 153pp. 群馬県環境生活部自然保護課, 群馬県.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (編) 1997. 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島県.
- 広島県 (編) 1995. 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま. 437pp. (財) 広島県環境保健協会, 広島県.
- 広島県版レッドデータブック見直し検討会 (編) 2004. 改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003. 516pp. 広島県.
- Horikawa, Y. 1976. Atlas of the Japanese Flora II. pp.501-862. Gakken, Tokyo.
- 石川県環境安全部自然保護課 (編) 2000. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物 (植物編) いしかわレッドデータブック. 358pp. 石川県環境安全部自然保護課, 石川県.
- 今村外治ほか (編) 1964. 広島県地質図説明書. 182pp. 広島県.
- 金井弘夫 1958. 日本種子植物分布図集第1集. 1-100 Figs, 14pp. 井上書店, 東京.
- 環境省自然保護局野生生物課 (編) 2007. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドリスト (維管束植物). ネットデータ
- 環境庁自然保護局 (編) 1992. 緊急に保護を要する動植物の種の選定調査基礎資料 維管束植物種都道府県別分布表. 210pp. 環境庁自然保護局, 東京.
- 高知県牧野記念財団 (編) 2000. 高知県レッドデータブック (植物編) 高知県の保護上重要な野生生物. 422pp. (財) 高知県牧野記念財団, 高知県.
- 熊本県希少野生動植物検討委員会 (編著) 2004. 熊本県の保護上重要な野生生物リスト レッドリストくまもと 2004. ネットデータ
- 京都府企画環境部環境企画課 (編) 2002. 京都府レッドデータブック上巻 野生生物編. 935pp. 京都府企画環境部環境企画課, 京都府.
- 前原勘次郎 1931. 南肥植物誌. 86pp. 自費出版.
- 宮崎県版レッドデータブック作成検討委員会 (編) 2008. 改訂・宮崎県の保護上重要な野生生物. ネットデータ
- 村田 源・小山博滋 1976. 襲速紀要素について. 国立科博専報 9: 111-121.
- 長野県自然保護研究所 (編) 2002. 長野県版レッドデータブック 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物. 297pp. 長野県自然公園協会, 長野県.
- 奈良県レッドデータブック策定委員会 (編) 2008. 大切にしたい奈良県の野生動植物 奈良県版レッドデータブック 植物・昆虫類編. 427pp. 奈良県農林部森林保全課, 奈良県.
- 奥山春季 1966. 原色高山植物図譜. 240pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 奥山春季 1983. 原色日本野外植物図譜2(改訂版). 589pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 大井次三郎 1978. 日本植物誌 顕花篇. 1584pp. 至文堂, 東京.
- 埼玉県環境防災部みどり自然課 (編) 2005. 改訂・埼玉県レッドデータブック 2005 植物編. 358pp. 埼玉県環境防災部みどり自然課, 埼玉県.
- 滋賀県生きものの総合調査委員会 (編) 2006. 滋賀県で大切にすべき野生生物 滋賀県レッドデータブック 2005 年版. 563pp. サンライズ出版, 滋賀県.
- 島根県環境生活部景観自然課 (監修) 2004. 改訂しまねレッドデータブック 島根県の絶滅のおそれのある野生動植物. 415pp. (財)ホシザキグリーン財団, 島根県.
- 静岡県自然環境調査委員会 (編) 2004. まもりたい静岡県の野生生物 県版レッドデータブック 植物編. 338pp. 羽衣出版, 静岡県.
- 杵村善則 2005. 島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告 3: 1-49.
- 栃木県林務部自然環境課・栃木県立博物館 (編) 2005. レッドデータブックとちぎ 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物. 898pp. 栃木県林務部自然環境課, 栃木県.
- 徳島県版レッドデータブック掲載種検討委員会 (編)

2001. 徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 徳島県版レッドデータブック. 438pp. 徳島県環境生活部環境政策課, 徳島県.
- 東京都環境保全局自然保護部 (編) 1998. 東京都の保護上重要な野生生物種 1998年版. 77pp. +16pp. 東京都環境保全局自然保護部, 東京.
- 和歌山県環境生活部環境生活総務課 (編) 2001. 保全上重要なわかやまの自然 和歌山県レッドデータブック. 428pp. 和歌山県環境生活部環境生活総務課, 和歌山県.
- 渡辺泰邦・桑田健吾・桑田武子・浜田展也・西岡秀樹 1998. 広島県高野町の種子植物. 比婆科学教育振興会 (編). 広島県高野町の自然誌, pp.23-134. 高野町, 広島県.
- 山梨県森林環境部みどり自然課 (編) 2005. 2005山梨県レッドデータブック 山梨県の絶滅のおそれのある野生生物. 243pp. 山梨県森林環境部みどり自然課, 山梨県.
- 山崎 敬 1981. ナス科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 日本の野生植物Ⅲ 草本 合弁花類, pp.71-91. 平凡社, 東京.
- Yamazaki, T. 1993. SOLANACEAE. Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.). Flora of Japan III a, pp.183-194. Kodansha, Tokyo.
- Ying, T.-S., Terabayashi, S. and Boufford, D. E. 1984. A monograph of *Diphylleia* (Berberidaceae). J. Arnold Arboretum 65: 57-94.
- よしままなびの森資料検討委員会植物部会 (編) 2001. よしわの植物ガイド. 233pp. 吉和村, 広島県.



広島県フロラ覚書 (5)*

世羅徹哉¹⁾

Memoranda for the Flora of Hiroshima Prefecture (5)*

Tetsuya Sera¹⁾

はじめに

2002年以降の調査で明らかになった広島県の植物相に関する知見のうち、ラン科植物に関してはすでに報告した(世羅・石田 2008)。今回はラン科以外の植物について報告する。なお、中国地方における各種の生育状況は、岡山県は大久保(1999)、山口県は岡ほか編(2001)、島根県は杵村(2005)、鳥取県は環境庁(1992)を参考にした。

シロバナハンショウヅル (キンポウゲ科)

Clematis williamsii A. Gray

2007年4月20日、広島県尾道市瀬戸田町観音山の中腹(海拔高度250 m)にある駐車場周辺の斜面で、開花中の個体を確認した(写真1a, 標本: HBG-15173, 15174)。本種は、千葉県以西の太平洋側、四国、九州に分布し、しばしば石灰岩地の林縁に生育するとされる(Kadota 2006)。本種に似た花をつける種にトリガタハンショウヅルがあるが、花糸に毛がないことを確認し、シロバナハンショウヅルとした(図1)。本報告が、中国地方では初めての自生記録となる。2008年に自生地を訪れた武内一恵氏によると、駐車場周辺だけでなく林道沿いや登山道沿いにも多数が生育していることを確認したが、登山道沿いの株は日照不足のためか開花にいたっていないということであった。

ツルネコノメソウ (ユキノシタ科)

Chrysosplenium flagelliferum Fr. Schm.

広島県安芸太田町戸河内で、広島市南区在住の高杉茂雄氏と庄原市在住の小池周司氏が2007年に発見した。同年8月に、武内一恵氏、若木小夜子氏らが花のない標本を採集し(標本: HBG-15374)、2008年4月13日に著者らが開花中の自生株を確認した(写真1b, 標本: HBG-15625)。生育場所は、海拔高度が約700 mの落葉広葉樹林下で、常に水が滴り落ちている岩盤上であった。開花期中に伸長を始めた地上茎には葉が互生する。また、夏季には葉が大きくなり、群生する姿はカキドオシを思わせる(図2)。

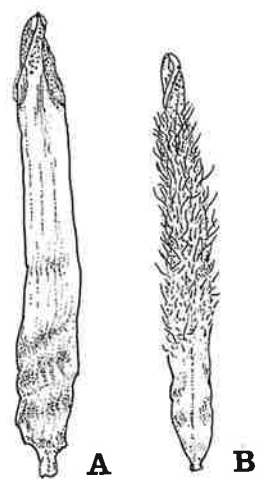


Fig.1. Staminal filaments of *Clematis* from Hiroshima Prefecture. A, *C. williamsii*. B, *C. tosaense*. Scale bar indicates 2 mm.

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No. 89.

1) 広島市植物公園 731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495
Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden, No. 27: 13-23, 2009.



Fig. 2. Photographs of specimens of *Chrysosplenium fragelliferum*. A, plant with flowers (HBG- 15625). B, plant with large leaves collected in August (HBG-15374).

本種はアムール、サハリン、中国東北部、韓国などに広く分布し、日本では北海道から本州中部までには比較的多く、本州西部や四国では希である (Wakabayashi 2003)。中国地方では、岡山県北部の石灰岩地や島根県の中国山地で希に見られるとされる。従って、岡ほか編 (1972) が指摘しているように、北方系の本種が温暖な気候で知られる山口県萩市笠山の風穴内に自生していることは、風穴という特殊な環境に遺存している特異なケースであろう。広島県内の記録としては、高木リストに種名のみ記述があるほか、江塚・松本 (1985) では福山市山野や新市に、また渡辺他 (1998) では庄原市高野町に自生するとしているが、標本が確認されなかったため、広島県植物誌や高野町植物目録では未確認種とされている。なお、2009年3月、高野町に隣接する三次市北部でも本種の自生が確認されている (未発表)。

チシマネコノメソウ (ユキノシタ科)

Chrysosplenium kamtschaticum Fisch. ex Ser.

著者は本種を、2007年5月29日に廿日市市吉和の三坂林道沿い (海拔高度 860 m, 標本: HBG-15039, 15040) で、2008年4月19日に同冠山潮谷登山道沿い (海拔高度 680 m, 写真 1c, 標本: HBG-15713, 15714, 15715) で、また同八郎谷林道沿い (海拔高度 960 m, 標本: HBG-15947, 15948) で確認した。本種内に、地上性の走出枝が先端のロゼット以外に葉を付けず、葉や苞の鋸歯が目立たない典型変種 (var. *kamtschaticum*) と、走出枝が先端のロゼット状葉以外に1対の葉をつけ、鋸歯が比較的明瞭なミチノクネコノメソウ (var. *aomorense* (Franch.) Hara) の2変種を認める場合があるが (大場 1982)、

今回の調査では両方の特徴を兼ね備えた個体が観察され (図 3)、Wakabayashi (2003) が指摘しているように、これら2変種を葉の特徴によって区別するのは困難であると思われた。

広島県における本種の自生記録は、広島県植物誌など植物相を報告した文献には見当たらない。しかし、Funamoto & Tanaka (1989) は、廿日市市吉和及び北広島町芸北で採取した本種の材料で染色体の観察を行い、染色体数 $2n=22$ を報告している。Wakabayashi (2003) によると、本種は本州の中北部に多く西は広島県まで、さらに四国の愛媛県に分布するとしているが、本種の西南限分布地として山口県にごく希に分布することが報告されている。

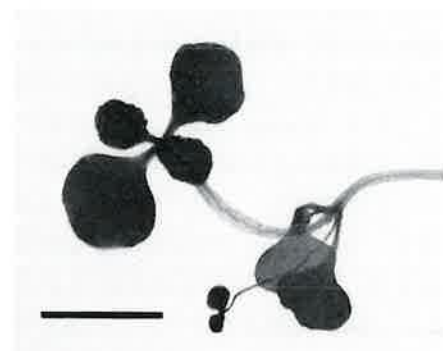


Fig. 3. Sterile branch of *Chrysosplenium kamtschaticum*, with a pair of entire leaves in addition to terminal ones. Scale bar indicates 10 mm.

ヒメヘビイチゴ (バラ科)

Potentilla centigrana Maxim.

本種は冷温帯性の植物で、日本では本州中部以北では多く見られるが、近畿地方以西では希であり、これまでに確認されている分布域の西限は広島県芸北町八幡である (池田・吉野 2005)。この自生地は、

海拔高度が 820 m で、広島県内でも最も多雪な地域である。今回自生を確認したのはその場所から約 10 km 離れた地点で、広島県内では 2ヶ所目となる(写真 1d, 標本: HBG-15922)。生育地は、ケヤキなどの落葉樹とスギやウラジロガシなどの常緑樹が混生する林の中を流れる比較的大きな溪流沿いで、岩の上に土砂が堆積した場所であった。溪谷内のため、洪水の時には水没する可能性はあるが、平常水面から数メートル上に位置している。また、この地点の海拔高度は 480 m で八幡の 820 m と比べると低地であり、生育環境は異なっていると思われる。

イワキンバイ (バラ科)

Potentilla dickinsii Fr. et Sav.

本種は北海道から九州にかけて分布し、中国地方の各県で自生が報告されている。しかし生育地、生育個体数ともに少ない希少種で、絶滅危惧種に選定している県も多数ある。広島県内ではこれまで、北東部に自生することが知られていたが、県の北西部にも自生していることが発見され、2007年7月に確認した(写真 1e, 標本: HBG-15444)。自生地の海拔高度は 830 m、ブナに覆われた山頂にある巨大な岩の割れ目に根を張り、3か所に分かれて合計約 10株が生育していた。

オオミネキイチゴ (バラ科)

Rubus x ohmineanus Koidz.

本種は、ハスノハイチゴ (*R. peltatus* Maxim.) とモミジイチゴ (*R. palmatus* Thunb.) との自然交雑種と考えられているもので、マルヤマイチゴ (*R. maruyamae* Naruhashi) と呼ばれ、本州と九州から知られている。中国地方では岡山、島根、山口の各県から報告がある。広島県内での確認情報はなかったが、2007年5月29日に著者らが廿日市市吉和の島根県境に近い場所で自生を確認した(写真 1f, 標本: HBG-15060, 5061)。自生地は、海拔高度が 950 m のブナ帯で、伐採後 10 数年と思われる若い林の林縁部であった。ハスノハイチゴと隣り合って生育していたが、葉が盾状にならず茎が明瞭な粉白色でない反面、葉身部はモミジイチゴに比べ大きく、葉底は深い心形になるものが多く、茎や葉の刺が少ないなど両者の中間的な形態を示した(図 4)。なお、数個体が群生しており、以上のような葉の形態は、個体間で変異が見られた。



Fig.4. Leaf of *Rubus x ohmineanus*, showing intermediate characteristics of leaf shape between *R. peltatus* and *R. palmatus*. Scale indicates 1 cm.

フッキソウ (ツゲ科)

Pachysandra terminalis Sieb. et Zucc.

本種は、北海道から九州まで分布するが、西南日本では比較的希である。広島県内でも、東部の石灰岩地帯に散発的に自生することが知られているが個体数は多くない。2007年5月、広島県西部の山地で初めて本種の自生を確認したので記録する(写真 2a, 標本: HBG-15123)。発見者は秋山晴曹氏。生育地は廿日市市吉和の、海拔高度約 560 m の岩海法の斜面で、高木層はミズナラ、アベマキ、カエデなどの落葉樹で、低木層はチャボガヤが優占していた。

カラスシキミ (ジンチョウゲ科)

Daphne miyabeana Makino

本種は北海道と本州の日本海側の山地に生育し、西は鳥取県まで分布するとされる(Murata 1999)。広島県における本種の自生記録としては、井波(1990)があり、広島県植物誌もこれを引用しているが、この記録には証拠標本が明記されていない。一方、松井(1999)は、北広島町芸北の中野冠山(海拔高度 840 m)で本種の自生を発見しているが、1株の幼個体を確認しただけである。著者は、2007年5月に安芸太田町戸河内の海拔高度 900 m の杉植林地内で、開花中の本種を多数確認した(写真 2b, 標本: HBG-15332)。また、2008年5月には、廿日市市吉和の同様な植林地内で開花中の1株を確認した(写真のみ)。両方とも秋山晴曹氏が発見したものである。

中国地方における本種の分布は、山口県を除く各

県に見られる。島根県の生育地は、隠岐と中部の中国山地沿いなので、今回報告する廿日市市の自生地が、本種の分布の西限地になると思われる。

タカクマヒキオコシ (シソ科)

Rabdosia shikokiana (Makino) Hara var. *intermedia* (Kudo) Hara

2005年から2008年にかけて、広島県廿日市市吉和のもみの木森林公園(写真2c, 標本: HBG-14772, 14773, 14774, 14775), 吉和三坂八郎林道沿い(標本: HBG-15008, 16100), 広島県安芸太田町戸内奥滝山(標本: HBG-16506, 16507, 16508), 広島県庄原市西城町岩中祖(標本: HBG-15476)において本種を確認した。これらはいずれも葉の外形が披針形で花冠の長さが10 mm以下であったので本種とした。広島県内の本種の記録としては須田ほか(1991)があるが、広島県植物誌では未確認種となっている。一方、本種によく似ているサンインヒキオコシ(*R. shikokiana* var. *occidentalis*)は、広島県安芸太田町のほか庄原市などの標本が引用されている。サンインヒキオコシは、タカクマヒキオコシに比べ葉が広い卵形で花冠が10 mm以上と長いことで区別されているが、両者の中間的なものが見られた(標本: HBG-15514, 15523)。広島県内のタカクマヒキオコシとサンインヒキオコシについては、さらに詳細な調査を行う必要がある。

ヤマホオズキ (ナス科)

Physalis chamaesarachoides Makino

本種は千葉県以西の本州、四国、九州に産し、環境省の絶滅危惧 I B 類に指定されている絶滅危惧種である(環境省 2007)。中国地方では、江塚・松本(1985)や大久保(1999)が、岡山県芳井の産地を記録しているほか島根、山口の各県から自生の報告がある。

一方で広島県内の自生については、高木リストに産地空白のまま種名が掲載されているだけであったが、三次市在住の菅昭和氏が2007年8月に神石高原町で発見したものを、同年9月12日に著者が確認した(写真2d, 標本: HBG-15543)。この生育地は、海拔高度430 mの渓谷中の斜面にある、アカシデ、ケヤキ、ニガキなどが高木層をなす落葉樹林下であった。当日、結実中の5個体を確認したが、2008年9月の調査で確認できたのは3個体で、いずれも開花した形跡は見られなかった。一方、2007年10

月には広島市佐伯区湯来町で山下容富子氏らが、林道上に自生している2個体を発見している(標本: HBG-15595)。さらに2008年9月21日には、福山市山野で広島市植物公園の山本昌生氏が本種の生育を確認した(標本: HBG-15973)。広島県における本種の確かな自生記録としては今回が初めての報告である。比較的大型の草本なので、これまで見過ごされてきたのが不思議であるが、全国的に希少な種であり、県内の自生状況について詳しく調べる必要がある。

スズメハコベ (ゴマノハグサ科)

Microcarpaea minima (Koenig) Merrill

本種は、関東以南の本州、四国、九州さらに東アジアの暖温帯からオーストラリアにかけての広い地域に分布し、低地の水田や湿潤な道路沿いなどに生育する小型の1年草である。日本では、除草剤の普及などが原因で急速に自生量が減少しているとして環境省の絶滅危惧 II 類に選定されている(環境省 2007)。広島県の自生記録としては土井(1983)があるが、広島県植物誌には記述が無い。2007年8月に、庄原市で小池周司氏が採集した(標本: HBG-15373)ほか、著者が2008年9月に廿日市市大野の渡野瀬貯水池で自生を確認した(写真2e, 標本: HBG-16002)。大変小さいが、特徴的ながく筒の形態により本種とした(図5)。1年草であるため、複数年にわたって生育調査を行う必要があるが、廿日市市の自生地では、かなりの数の個体が自生していた。

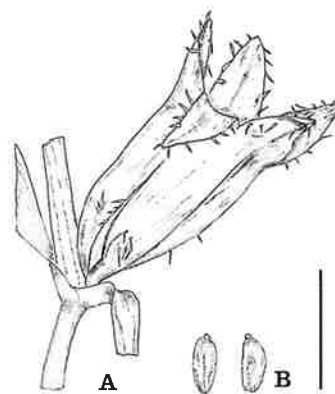


Fig. 5. *Microcarpaea minima*. A, calyx tube. B, seeds. Scale bar indicates 1 mm.

レンプクソウ (レンプクソウ科)

Adoxa moschatellina L.

2008年4月に、広島市安佐北区白木でレンプクソウの新産地を確認した(写真2f, g, 標本: HBG-15712). 自生地は海拔高度210 m, 地質は古生層で、小高い場所にある民家の屋敷地の下の斜面であった。定期的な下刈りなどの作業が行われているようで、木本類はほとんどなかった。レンプクソウと混生していた主な草本植物は、オドリコソウ、キツネノカミソリ、カセンソウ、イチリンソウ、フラサバソウ、ネコノメソウであった。

広島県内での本種の発見の経緯や分布については広島県植物誌に詳述されているが、ここで報告する自生地はこれまで知られている自生地からやや離れていて、県内の南西限になると思われる。

ヒロハノコヌカグサ (イネ科)

Aulacolepis treutleri (O.Kuntze) Hack. var. *japonica* (Hack.) Ohwi

広島県廿日市市吉和十方林道(2006年7月30日, 標本: HBG-13792), 吉和三坂八郎林道(2006年9月15日, 標本: HBG-15009), 安芸太田町戸河内坂根谷(2006年8月10日, 写真3a, 標本: 13820), 北広島町芸北中の甲林道(2007年8月7日, 標本: HBG-15368)で自生を確認した。本種は、中部以西の本州に分布し、深山に希に見られる(長田2002)。これまで広島県内の自生は報告されていないが、関太郎博士によると、これまでフサガヤとしていたものが本種であるという(私信)。今回調査

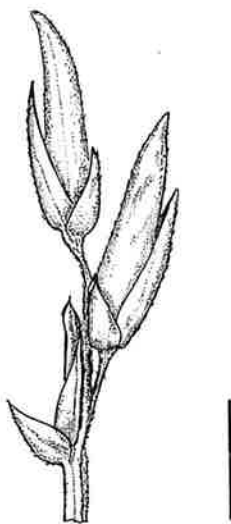


Fig.6. Spikelets of *Aulacolepis treutleri* from Aki-Ohta Town in Hiroshima Prefecture. Scale bar indicates 3 mm.

した植物の小穂には、長田(2002)にあるような特徴が認められたので本種とした(図6)。今回確認した自生地はいずれも海拔高度750 m~930 mの溪流沿いで、4ヶ所のうち安芸太田町の自生地は急峻な山岳溪流、他の3ヶ所は溪流沿いの林道脇だった。山口県では、広島県境に近い寂地山にごく希にあることが知られている(岡ほか編1972)。鳥根県からは報告されていないが、西中国山地には比較的多く自生しているのではないかとと思われる。

ヒゲノガリヤス (イネ科)

Calamagrostis longiseta Hack.

2007年7月27日に、広島県廿日市市吉和の小川谷源流部に近い岩尾根に群生しているのを確認した(標本: HBG-15342, 15345)。長田(2002)によると、本種は高地草原に生育し、近畿以西では希である。中国地方では鳥取県から記録があるほか岡山県では県北の山地高所に希に生育しており、岡ほか編(1972)は、本種の分布の西南現地として山口県阿武郡高岳山を挙げている。吉和の自生地は、小川源流ブドウ小屋谷の北側にある尾根で、桑原(1982)が「懸崖がある」と紹介している場所である。海拔高度は1200 m, 冠山安山岩と思われる岩石でできた絶壁が崩壊して開けた草原状の場所であった。なお、今回観察した個体の芒は、長田(2002)の図(p.341)のように屈曲するだけでなく、ミヤマノガリヤス(p.337)のように九の字に曲がったものが多かったが、護穎先端の芒状に突出した4脈を確認し、本種とした(写真3b, 図7)。

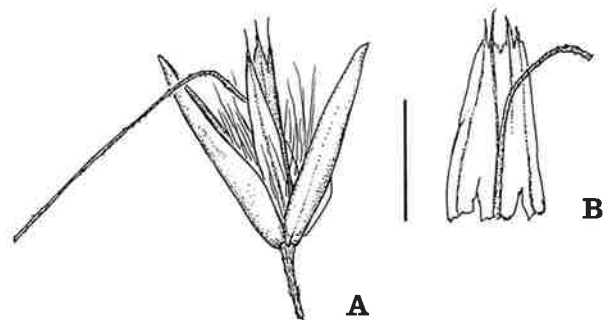


Fig.7. *Calamagrostis longiseta*. A, flower with reflexed arista. B, lemma. Scale bar indicates 3 mm.

ヒロハノハネガヤ (イネ科)

Orthoraphium coreanum (Honda) Ohwi var. *kengii* (Ohwi) Ohwi

広島県安芸太田町戸河内坂根谷下流部(海拔高度

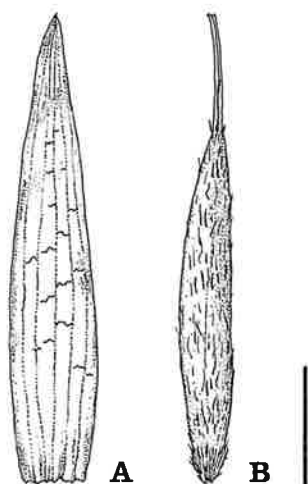


Fig.8. *Orthoraphium coreanum* var. *kengii*. A, lemma with reticulate vein. B, palea with strigose surface and base hair. Scale bar indicates 3 mm.

600 m) で、2006年8月10日に確認した(標本: HBG-13813)。本種は北海道、本州、四国、九州に分布し(長田 2002)、中国地方では山口県、島根県、岡山県に自生の記録がある。広島県植物誌には収録されていないが県内の自生としては、土井(1983)が備後地方で、浜田・金沢(2004)は東城町で記録している。本種は、一見穂状のような花序と護穎、内穎に特徴があり、これらを確認したので本種とした(写真3c, 図8)。東城町の自生地は、石灰岩の路傍ということであるが、坂根谷の地質は中帯の古生層に属する流紋岩類で、生育地は露岩の多い溪谷沿いの林縁であった。

クロテンツキ (カヤツリグサ科)

Fimbristylis diphyloides Makino

本種については、広島市佐伯区及び安佐南区(土井 1983)、福山市(江塚・松本 1985)、広島市佐伯区及び東広島市など(高木リスト)などの自生記録があるが、証拠標本を確認できなかったため、広島県植物誌では未確認種とされている。2008年9月に廿日市市大野渡野瀬貯水池で武内一恵氏が採集し、その後同所で著者が確認した(写真3d, 標本: HBG-16008, 16055)。また、著者は安芸郡黒瀬町亀ヶ首及び東広島市西条町吉郷でも本種の自生を確認した(標本: HBG-16411, 16504, 16505)。本種の特徴として星野・正木(2003)は、花柱が扁平でなく細身で平滑、且つ柱頭が2裂するという特徴を挙げている。今回観察した全ての個体で、花柱は平滑で柱頭が2裂していたが、東広島市産の個体では、他の

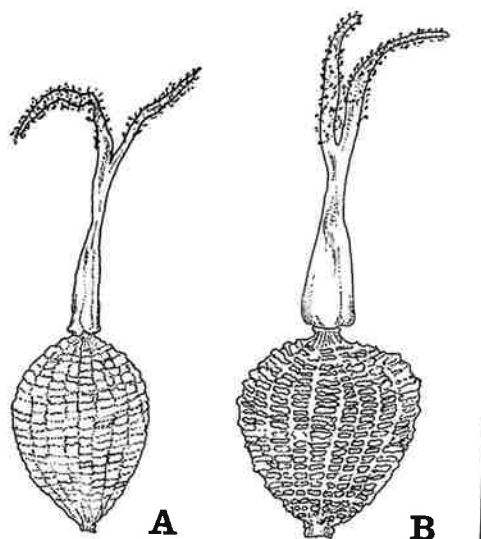


Fig.9. Achenes of *Fimbristylis diphyloides*. A, plants from Hatsukaichi City. B, plants from Higashihiroshima City. Scale bar indicates 1 mm.

2産地の個体に比べて花柱基部が幅広かった(図9)。

メアゼテンツキ (カヤツリグサ科)

Fimbristylis velata R. Br.

本種は、本州、四国、九州だけでなく、中国(東北)、朝鮮、インドネシア、オーストラリアなどに広く分布する小型の一年草。花柱基部に長毛があり、鱗片先端の芒状突起が短いのが特徴で(Fig. 10)、平地の田の畦や干上がった泥地などに生える。著者は本種を、2008年10月に、安芸郡黒瀬町で確認した(写真3f, 標本: HBG-16416)。

広島県植物誌には記述が無いが、記録としては福山市(江塚・松本 1985, 標本: 386, 1116)がある

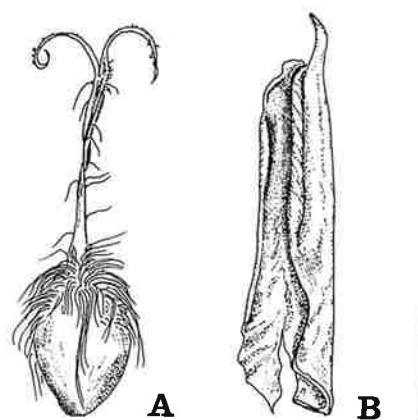


Fig.10. *Fimbristylis velata* from Kurose Town. A, achene. B, scale. Scale bar indicates 1 mm.

(江塚 1994).

摘 要

広島県で新に自生を確認した外来植物

以下の4種の生育を、広島県内で初めて確認した。

アフリカフウチョウソウ (フウチョウソウ科)

Cleome ruidosperma DC.

2005年8月6日、広島市安芸区船越の駐車場で、アスファルト舗装の隙間から生じ、開花・結実状態のものを2個体確認した(標本:HBG-13532)。本種は熱帯アフリカ原産の1年草で、アジアやオーストラリアに帰化している。日本には1999年に渡来し、東京都、千葉県、大阪府、兵庫県で帰化が報告されている(太刀掛・中村 2007)。同所では、2006、2007年にも生育を確認したが個体数の増減は無かった。2008年の生育状況は未確認である。これまでのところ個体数の増加や分布域の急速な拡大も見られないので、広島市域での本種は、予備帰化植物(太刀掛・中村 2007)の段階であろう。

ヒメクマツヅラ (クマツヅラ科)

Verbena litoralis Kunth

2007年6月29日、世羅郡世羅西町津田明神山東側の林道(海拔高度440m)で開花中のものを約10個体確認した(写真3e, 標本:HBG-15425)。太刀掛・中村(2007)によると本種は北アメリカ原産で第二次大戦後日本に渡来し、関東以西の本州、九州、琉球で帰化している。

オオスズメノテッポウ (イネ科)

Alopecurus pratensis L.

2007年5月29日廿日市市吉和三坂林道で生育しているのを確認した(標本:HBG-15054)。生育地の海拔高度は880m。周辺は伐採後10年前後と思われる植林地である。山口県でもごく希に帰化している。

オオウシノケグサ (イネ科)

Festuca rubra L.

前出のオオスズメノテッポウと同所で確認した(標本:HBG-15074)。山口県、島根県でも希に帰化している。

2002年から2008年にかけて行った、広島県内の野生植物調査の結果、外来種を含む9種の生育を新たに確認した。また、6種については、これまでの自生記録を、証拠標本によって確認した。広島県内では自生数の少ない6種について、新産地を記録した。

Summary

Nine species, *Clematis williamsii*, *Rubus × ohmineanus*, *Physalis chamaesarachoides*, *Aulacolepis treutleri* var. *japonica*, *Calamagrostis longiseta*, *Cleome ruidosperma*, *Verbena litoralis*, *Alopecurus pratensis*, *Festuca rubra*, were newly added to the flora of Hiroshima Prefecture. Records of growth in the prefecture about six native species were confirmed by voucher specimens. And six rare species were recorded in new localities.

謝 辞

本調査にあたり、東和環境科学株式会社の吉野由紀夫氏、広島市西区在住の富沢由美子氏に種の同定に関して貴重な助言をいただいた。また、証拠標本の作製、整理は広島市植物公園ガイドボランティアの会の一橋賢三、北本照子両氏によるところが大きい。本文中に記述した方をはじめ、調査に御協力いただいた皆様に深謝します。

引用文献

- 土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148 pp. 博新館, 広島県.
 江塚昭典 1994. 農業環境技術研究所所蔵植物標本目録. 農業環境技術研究所資料 15: 1-154.
 江塚昭典・松本和夫 1985. 福山市周辺の植物相. 中国農業試験場報告 E (環境部) 23: 1-107.
 Funamoto, T. and Tanaka, R. 1989. Karyomorphological studies on the genus *Chrysosplenium* in Japan (3). Five species and four varieties of the glabrous group in section *Chrysosplenium*. La Kromosomo II-55-56: 1816-1826.
 浜田展也・金沢成三 2004. 広島県東城町維管束植物目録. 広島県東城町植物誌編纂委員会(編).

- 広島県東城町植物誌, pp.51-302. 比婆科学教育振興会, 広島県.
- 広島市植物公園 (編) 2005. 高木リスト. 広島市植物公園紀要 22・23: 5-129.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 (編) 1997. 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島県.
- 星野卓二・正木智美 2003. 岡山県カヤツリグサ科植物図譜 (II). 230pp. 山陽新聞社, 岡山県.
- 池田博・吉野由紀夫 2005. ヒメヘビイチゴ (バラ科) の新産地と日本における分布. 植物地理・分類研究 53: 75-82.
- 井波一雄 1990. 広島県植物図撰 V. 100pls. +37pp. 博新館, 広島県.
- Kadota, Y. 2006. RANUNCULACEAE. Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D.E. and Ohba, H. (eds.). Flora of Japan II a, pp.258-341. Kodansha, Tokyo.
- 環境省自然保護局野生生物課 (編) 2007. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドリスト (維管束植物). ネットデータ
- 環境庁自然保護局 (編) 1992. 緊急に保護を要する動植物の種の選定調査基礎資料 維管束植物種都道府県別分布表. 210pp. 環境庁自然保護局, 東京.
- 桑原良敏 1982. 西中国山地. 232pp. 溪水社, 広島県.
- 松井健一 1999. 広島県の植物についての新産地情報. 比婆科学 192: 75-77.
- Murata, J. 1999. THYMELAEACEAE. Iwatsuki, K., Boufford, D.E. and Ohba, H. (eds.). Flora of Japan II c, pp.146-151. Kodansha, Tokyo.
- 岡 国夫ほか (編) 1972. 山口県植物誌. 608pp. 山口県植物誌刊行会, 山口県.
- 岡 国夫・勝本 謙・見明長門・三宅貞敏・真崎博 (編) 2000. 山口県産高等植物目録. 92pp. 山口県植物研究会, 山口県.
- 大久保一治 1999. 岡山県自然植物目録 付帰化植物・栽培植物 増補改訂版. 358pp. 岡山花の会, 岡山県.
- 大場秀章 1982. ユキノシタ科. 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 日本の野生植物 II 草本離弁花類, pp.153-172. 平凡社, 東京.
- 長田武正 2002. 増補日本イネ科植物図譜 (オンデマンド版). 790pp. 平凡社, 東京.
- 世羅徹哉・石田源次郎 2008. 広島県産ラン科植物に関する新知見. 広島市植物公園紀要 26: 53-63.
- 須田泰夫・山本昌生・世羅徹哉・原田美佐子・石田源次郎 1991. 吉和冠山の植生調査. 広島市植物公園紀要 13: 17-67.
- 杵村善則 2005. 島根県の種子植物相. 島根県立三瓶自然館研究報告 3: 1-49.
- 太刀掛優・中村慎吾 (編著) 2007. 改訂増補帰化植物便覧. 676pp. 比婆科学教育振興会, 広島県.
- Wakabayashi, M. 2003. *Chrysosplenium* L. Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D.E. and Ohba, H. (eds.). Flora of Japan II b, pp.58-70. Kodansha, Tokyo.
- 渡辺泰邦・桑田健吾・桑田武子・浜田展也・西岡秀樹 1998. 広島県高野町の種子植物. 比婆科学教育振興会 (編). 広島県高野町の自然史, pp.23-134. 高野町教育委員会, 広島県.



Plate 1. a, *Clematis williamsii*. b, *Chrysosplenium flagelliferum*. c, *Chrysosplenium kamtchaticum*. d, *Potentilla centigrana*. e, *Potentilla dickinsii*. f, *Rubus* × *ohmineanus*.

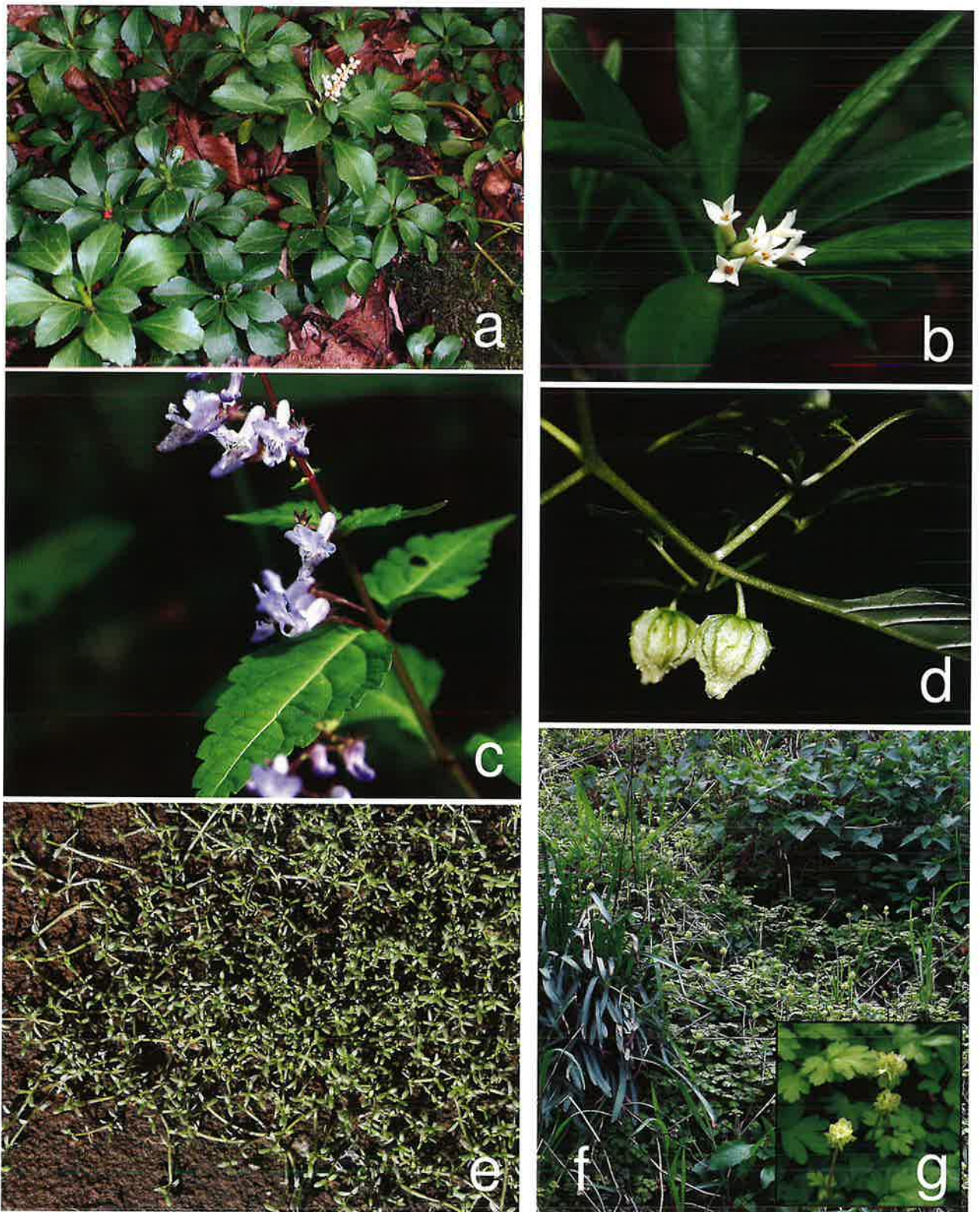


Plate 2. a, *Pachysandra terminallis*. b, *Daphne miyabeana*. c, *Rabdosia shikokiana* var. *intermedia*. d, *Physalis chamaesarachoides*. e, *Microcarpaea minima*. f, natural habitat of *Adoxa moschatellina* in Shiraki, Hiroshima City. g, flowers of *Adoxa moschatellina* in f.

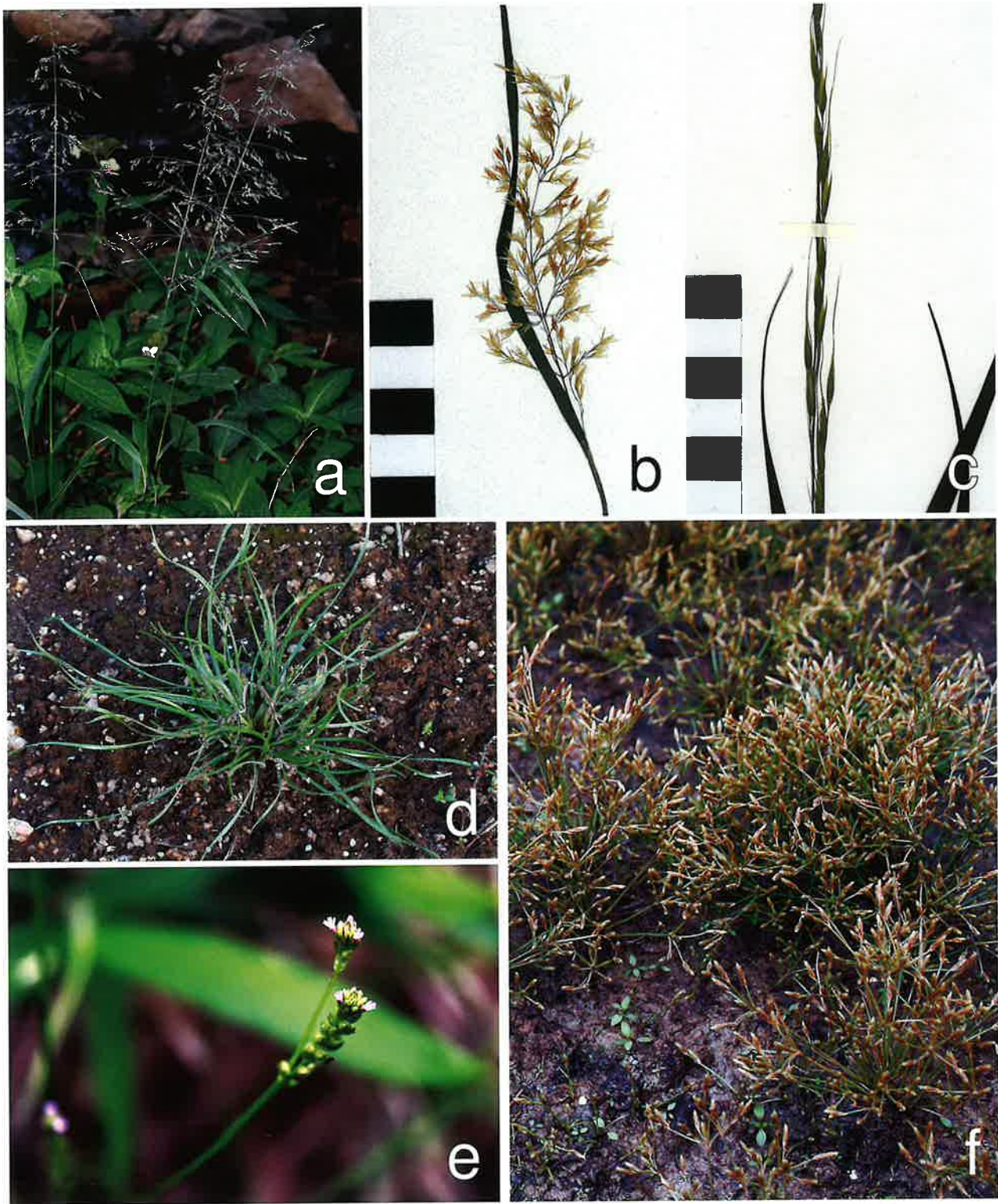
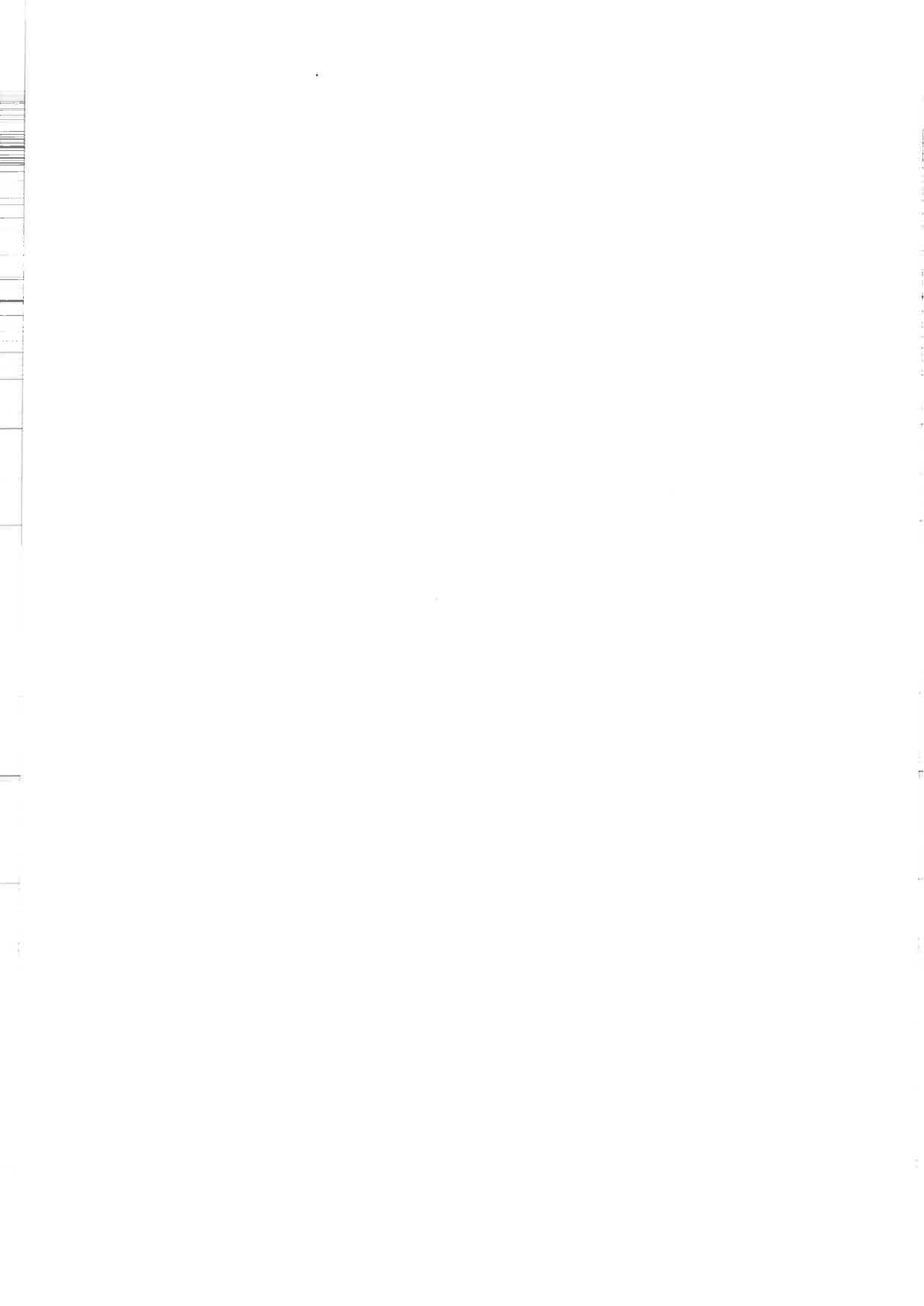


Plate 3. a, *Aulacolepis treutleri* var. *japonica*. b, *Calamagrostis longiseta*. c, *Orthoraphium coreanum* var. *kengii*. d, *Fimbristylis diphyloides*. e, *Verbena litoralis*. f, *Fimbristylis velata*.



広島市五日市河内地区の植物相 (I)*

一橋賢三¹⁾・北本照子¹⁾・今村 撰¹⁾・井上尚子²⁾・世羅徹哉²⁾

Flora of Itsukaichi-Kouchi area in Hiroshima City (I)*

Kenzou Hitotsubashi¹⁾・Teruko Kitamoto¹⁾・Erabu Imamura¹⁾・Naoko Inoue²⁾・Tetsuya Sera²⁾

はじめに

五日市河内地区は、瀬戸内海国立公園の極楽寺山北側にあり、広島市佐伯区五日市荒谷から下河内、大杉の集落を経て廿日市市中伏に至る荒谷林道に沿った地域で、広島市佐伯運動公園から魚切ダムに通じる中国自然歩道が林道中間点を横切っている(図1)。この地域では、1911年に牧野富太郎、乾環、白神寿吉らが参加した植物採集会が行われた(広島県植物誌 p.59)。その後も研究者たちが訪れているようで、高木リスト(広島市植物公園編 2005)には20種の産地としてこの地域が挙げられ、広島県植物目録(土井 1983)にも五日市河内の地名が見られる。これら両方の目録に五日市河内産として登場するハナナズナとアゼオトギリは、現在では県内の生育地が確認されていない貴重な種である。しかし、この地域の植物相をまとめた報告はこれまでになく、さらに上記2種の現状を確認するためにも五日市河内の植物相調査を行う必要があった。そこで、この地区に近い広島市植物公園で活動している広島市植物公園ガイドボランティアの会が、会員の植物同定能力の向上を図るとともに、五日市河内地区の植物相を解明する目的で2006年から2008年にかけて現地調査を行った。ここでは、第一報として、これまでの調査で確認した種のリストを広島市五日市河内地区維管束植物目録として報告する。

現地調査は、主にガイドボランティアの会員が行い、基本的に荒谷林道及び中国自然歩道を調査コースとし(図1)、これらに沿って出現した植物を採

集し、標本を作成した。種の同定は、著者らが行ったが、シダ植物はすべて広島市西区在住の松村雅文氏に確認していただいた。また、スゲ属の一部の種は、岡山理科大学教授の星野卓二博士に確認していただいた。

結 果

今回、五日市河内で生育を確認した維管束植物は、シダ植物が18科99種、裸子植物が5科7種、被子植物が95科604種の合計710種で、このうち外来種(植栽・逸出を含む)は62種であった。また、8種は、環境省(2007)、広島県(2004)、広島市(2006)のいずれかで絶滅危惧種に指定されている。

今回の調査では、ハナナズナとアゼオトギリは確認されなかった。また、これまでに標本の記録があるシダ植物のうち、オシダ科のテンリュウカナワラビとミツイシイノデ、ヒメシダ科のヒメシダ、ウラボシ科のヤノネシダは確認されなかったが、地区新産としてイワデンダ科のオオホソバシケシダを確認した。今回生育を確認した種子植物の中で特記すべき種として次の種が挙げられる。

キンセイラン

本種は、広島県では中間樹林帯の林床に希に生育するラン科の多年草である。この地域の自生は、著者の一橋が本調査中に発見したものである。2007年の発見後、かなりの数の人が観察に訪れており、写真の撮影などのために自生環境が悪化している。

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.90.

1) 広島市植物公園ガイドボランティアの会 731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495

2) 広島市植物公園 731-5156 広島市佐伯区倉重3丁目495

Bulletin of the Hiroshima Botanical Garden, No. 27 : 25-46, 2009.

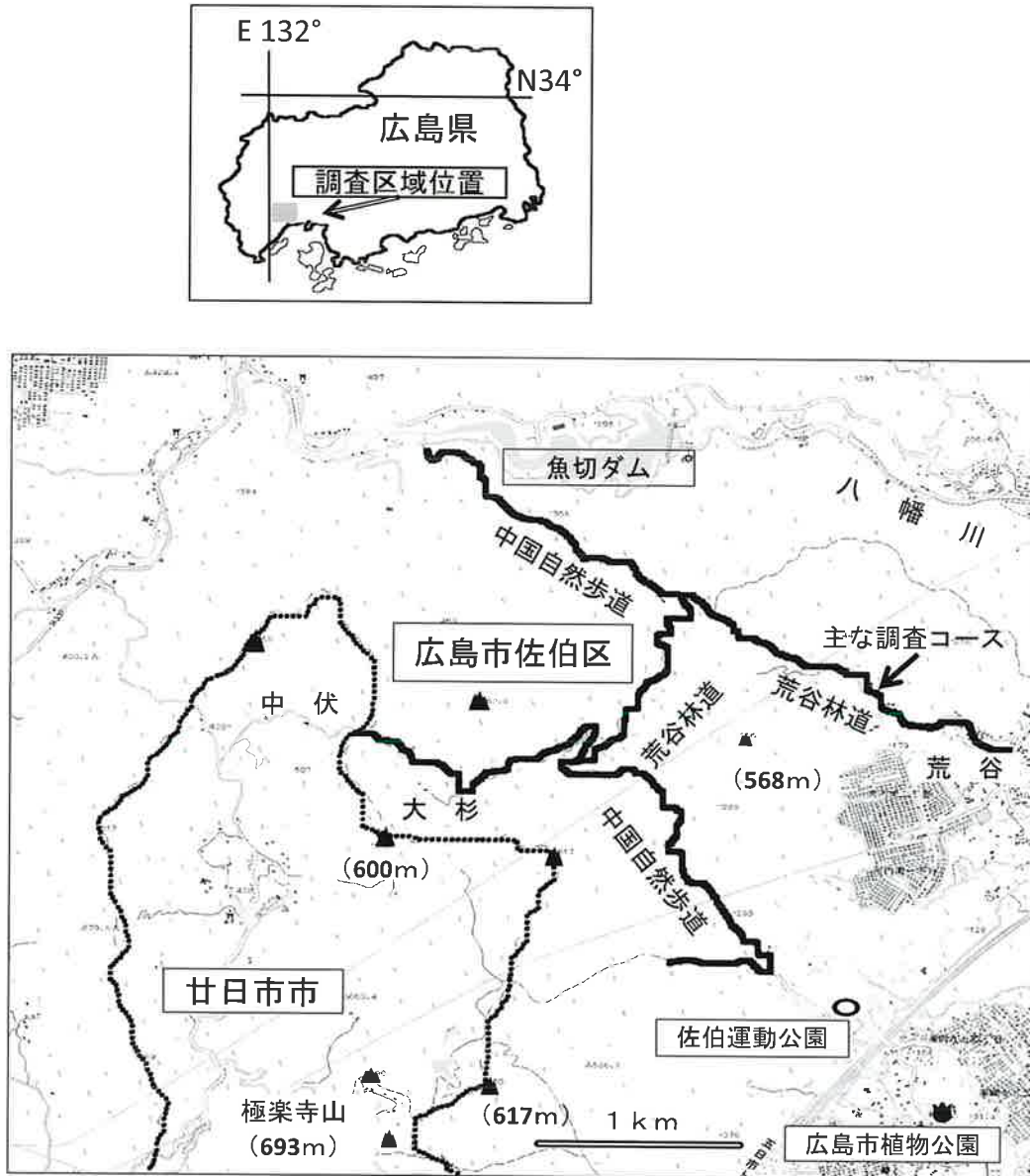


図1 調査区域の位置と調査コースの概略図

幸い盗掘等による自生株数の減少は見られないようである。すでに世羅・石田 (2008) で報告したように、この地域は、本種のもっとも沿岸部沿いの自生地と考えられる。

フナバラソウ

山地の草地に生育するガガイモ科の多年草で、広島県では吉備高原面や沿岸部で希に見られる (広島県植物誌)。しかし、自生地の環境変化などのために、広島県植物誌で引用されている標本の自生地においても開花に至る個体が見当たらない場合や、個体そのものが確認できない場所もある。今回確認したのはわずかに1個体で、それも、自生地の地権者が草

刈りの際に意図的に残してきたために存続していると思われる。

ナガバジュズネノキ

本種は、広島県植物誌では証拠標本がないため未確認種とされている。その後、現在の三原市で生育が確認された。この地域に本種が自生することは一部に知られていたようであるが、正式に報告されるのは今回が初めてと思われる。調査区域内では最も沿岸部に近い場所で、イヌガシヤやシイモチが自生する社叢に少数が生育している。

広島市五日市河内地区維管束植物目録

広島市五日市河内地区の維管束植物目録を、以下の凡例に従って作成した。

1. 学名、和名及び科、属、種の配列は、広島県植物誌に主として準拠した。
2. 和名の後に、植栽、逸出、外来、別名やRDB指定状況などを付記した。
3. 続いて標本番号を記した。標本は全て広島市植物公園に保管してあるので、HBG-を略した。なお、証拠標本はないが、写真で確実に同定できる種は、[写真]と付して掲載した。

PTERYDOPHYTA シダ植物

Lycopodiaceae ヒカゲノカズラ科

Lycopodium clavatum L. ヒカゲノカズラ 16288, 16289

Lycopodium serratum Thunb. トウゲシバ 16207, 16208

Selaginellaceae イワヒバ科

Selaginella heterostachys Bak. ヒメクラマゴケ 16117, 16118

Equisetaceae トクサ科

Equisetum arvense L. スギナ 16169, 16170

Osmundaceae ゼンマイ科

Osmunda cinnamomea var. *fokiensis* Copel. ヤマドリゼンマイ 16194

Osmunda japonica Thunb. ゼンマイ 16200, 16201

Plagiogyriaceae キジノオシダ科

Plagiogyria euphlebica (Kunze) Mett. オオキジノオ 16280, 16281, 16282

Plagiogyria japonica Nakai キジノオシダ 16236, 16237

Gleicheniaceae ウラジロ科

Dicranopteris linearis Bernh. コシダ 16283, 16284

Gleichenia japonica Spr. ウラジロ 16161

Schizaeaceae フサシダ科

Lygodium japonicum (Thunb.) Sw. カニクサ 16162

Hymenophyllaceae コケシノブ科

Hymenophyllum barbatum (U. D. Bosch) Baker コウヤコケシノブ 16214, 16215

Dennstaedtiaceae コバノイシカグマ科

Dennstaedtia hirsuta (Sw.) Mett. ex Miq. イヌシダ 16252

Dennstaedtia scabra (Wall. ex Hook.) Moore コバノイシカグマ 16119, 16120

Hypolepis punctata (Thunb.) Mett. ex Kuhn イワヒメワラビ 16253

Microlepia marginata (Panzer) C. Chr. フモトシダ 16133, 16134

Pteridium aquilinum (L.) Kuhn var. *latiusculum* (Desv.) Und. ex Halle ワラビ 16151

Lindsaeaceae ホングウシダ科

Sphenomeris chinensis (L.) Maxon ホラシノブ 16273, 16274, 16275

Parkeriaceae ホウライシダ科

Coniogramme × *fauriei* Hieron. イヌイワガネソウ 16180, 16181, 16182

Coniogramme intermedia Hieron. イワガネゼンマイ 16157, 16158

Coniogramme japonica (Thunb.) Diels イワガネソウ 16285

Onychium japonicum (Thunb.) Kunze タチシノブ 16186, 16187

Pteridaceae イノモトソウ科

Pteris cretica L. オオバノイノモトソウ 16278, 16279

Pteris excelsa Gaud. オオバノハチジョウシダ 16203

Pteris multifida Poir. イノモトソウ 16218, 16219

Aspleniaceae チャセンシダ科

Asplenium incisum Thunb. トラノオシダ 16267, 16268

Asplenium sarelii Hook. コバノヒノキシダ 16192

Asplenium trichomanes L. チャセンシダ 16286

Blechnaceae シシガシラ科

Struthiopteris niponica (Kunze) Nakai シシガシラ 16135, 16136

Woodwardia orientalis Sw. コモチシダ 16206

Dryopteridaceae オシダ科

Arachniodes amabilis (Bl.) Tindale オオカナワラビ 16291

Arachniodes aristata (Forst.) Tindale ホソバカナワラビ 16144, 16145

Arachniodes × *sasamotoi* Kurata シモダカナワラビ 16297

Arachniodes simplicior (Makino) Ohwi ハカタシダ 16247, 16248, 16249

Arachniodes simplicior (Makino) Ohwi var. *major* (Tagawa) Ohwi オニカナワラビ 16228, 16229, 16230, 16231

Arachniodes standishii (Moore) Ohwi リョウメンシダ 16276, 16277

Ctenitis maximowicziana (Miq.) Ching キヨスミヒメワラビ 16126, 16127

Cyrtomium falcatum (L. fil.) Pr. オニヤブソテツ 16260

Cyrtomium fortunei J. Sm. ヤブソテツ 16261, 16262

Cyrtomium fortunei J. Sm. var. *clivicola* (Makino) Tagawa ヤマヤブソテツ 16165, 16166, 16167, 16168

Dryopteris atrata (Wall. ex Kunze) Ching イワヘゴ 16294

Dryopteris chinensis (Bak.) Koidz. ミサキカグマ 16152, 16153

Dryopteris decipiens (Hook.) O. Kuntze var. *diplozioides* (Christ) Ching イヌナチクジャク 16146

Dryopteris dickinsii (Fr. et Sav.) C. Chr. オオクジャクシダ 16184, 16185

Dryopteris erythrosora (Eat.) O. Kuntze ベニシダ 16137, 16138

Dryopteris erythrosora (Eat.) O. Kuntze var. *dilatata* (Koidz.) Sugim. トウゴクシダ 16188, 16189

Dryopteris fuscipes C. Chr. マルバベニシダ 16139, 16140, 16141, 16142, 16143

Dryopteris hondoensis Koidz. オオベニシダ 16256, 16257, 16258, 16259

Dryopteris lacera (Thunb.) O. Kuntze クマワラビ 16216, 16217

Dryopteris medioxima Koidz. エンシュウベニシダ 16178

Dryopteris sparsa (Han. ex Don) O. Kuntze ナガバノイタチシダ 16149

Dryopteris uniformis (Makino) Makino オクマワラビ 16225, 16226, 16227

Dryopteris varia (L.) O. Kuntze var. *hikonensis* (H. Ito) Kurata オオイタチシダ 16232, 16233

Dryopteris varia (L.) O. Kuntze var. *sacrosancta* (Koidz.) Ohwi ヒメイタチシダ 16238, 16239, 16240

Dryopteris varia (L.) O. Kuntze var. *setosa* (Thunb.) Ohwi ヤマイタチシダ 16241, 16242, 16243, 16244

Leptorumohra miqueliana (Maxim. ex Fr. et Sav.) H. Ito ssp. *fimbriata* (Koidz.) Nakaike var. *narawensis* (Koidz.)

Nakaike ナンゴクナライシダ 16173, 16174

Polystichum × *izuense* Kurata カタイノデモドキ 16209

Polystichum × *kiyozumianum* Kurata キヨスミイノデ 16293

Polystichum ovato-paleaceum (Kodama) Kurata ツヤナシイノデ 16190

Polystichum polyblepharum (Roem. ex Kunze) Pr. イノデ 16245, 16246

Polystichum pseudo-makinoi Tagawa サイゴクイノデ 16195, 16196, 16197, 16198

Polystichum tagawanum Kurata イノデモドキ 16128, 16129

Polystichum tripterum (Kunze) Pr. ジュウモンジシダ 16287

Thelypteridaceae ヒメシダ科

Cyclogramma acuminatus (Houtt.) Nakai ex H. Ito ホシダ 16171, 16172

- Phegopteris decursive-pinnata* (V. Hall) Fee ゲジゲジシダ 16234, 16235
Stegogramma pozoi ssp. *mollissima* (Fischer ex Kunze) Nakaïke ミゾシダ 16269, 16270, 16271, 16272
Thelypteris esquirolii (Chirst) Ching var. *glabrata* (Christ) K. Iwats. イブキシダ 16176, 16177
Thelypteris glanduligera (Kunze) Ching var. *elatior* (Eat.) Kurata コハシゴシダ 16160
Thelypteris japonica (Bak.) Ching ハリガネワラビ 16264, 16265, 16266
Thelypteris laxa (Fr. et Sav.) Ching ヤワラシダ 16210, 16211, 16212
Thelypteris palustris (Sallisb.) Schott. ヒメシダ 16202
Thelypteris torresiana (Gaud.) Alston var. *calvata* (Bak.) K. Iwats. ヒメワラビ 16254, 16255
Thelypteris viridifrons Tagawa ミドリヒメワラビ 16150

Woodsiaceae イワデンド科

- Athyrium clivicola* Tagawa カラクサイヌワラビ 16131, 16132
Athyrium deltoideofrons Makino サトメシダ 16179
Athyrium iseanum Rosenst. ホソバイヌワラビ 16121, 16122, 16123
Athyrium × *multifidum* Rosenst. オオサトメシダ 16163
Athyrium niponicum (Mett.) Hance イヌワラビ 16191
Athyrium oblitescens Kurata サキモリイヌワラビ 16213
Athyrium otophorum (Miq.) Koidz. タニイヌワラビ 16220, 16221, 16222
Athyrium × *tokashikii* Kurata オオカラクサイヌワラビ 16204
Athyrium vidalii (Fr. et Sav.) Nakai ヤマイヌワラビ 16155, 16156
Athyrium wardii (Hook.) Makino ヒロハイヌワラビ 16223, 16224
Athyrium yokoscense (Fr. et Sav.) Christ ヘビノネゴザ 16164
Cornopteris decurrenti-alata (Hook.) Nakai シケチシダ 16124, 16125
Deparia conilii (Fr. et Sav.) M. Kato ホソバシケシダ 16130
Deparia dimorphophylla (Koidz.) M. Kato セイタカシケシダ 16193
Deparia japonica (Thunb.) M. Kato シケシダ 16147, 16148
Deparia petersenii (Kunze) ナチシケシダ 16292
Deparia pycnosora (Christ) M. Kato var. *albosquamata* M. Kato ハクモウイノデ 16154
Diplazium mettenianum (Miq.) C. Chr. var. *tenuifolium* Kurata ウスバミヤマノコギリシダ 16183
Diplazium mettenianum (Miq.) C. Chr. ミヤマノコギリシダ 16290
Diplazium squamigerum (Mett.) Matsum. キヨタキシダ 16175
Diplazium subsinuatum (Wall. ex Hook. et Grev.) Tagawa ヘラシダ 16199
Lunathyrium conilii × *japonicum* オオホソバシケシダ 16205
Matteuccia orientalis (Hook.) Trev. イヌガンソク 16159

Polypodiaceae ウラボシ科

- Crypsinus hastatus* (Thunb.) Copel. ミツデウラボシ 16263
Lemmaphyllum microphyllum Pr. マメツタ 16295, 16296
Lepisorus thunbergianus (Kaulf.) Ching ノキシノブ 16250, 16251

SPERMATOPHYTA 種子植物
GYMNOSPERMAE 裸子植物

Ginkgoaceae イチヨウ科

- Ginkgo biloba* L. イチヨウ (植栽) 16753

Pinaceae マツ科

- Abies firma* Sieb. et Zucc. モミ 17365
Pinus densiflora Sieb. et Zucc. アカマツ 17364

Taxodiaceae スギ科*Cryptomeria japonica* (L. fil.) D. Don スギ 17136**Cupressaceae ヒノキ科***Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Sieb. et Zucc. ヒノキ 17319*Juniperus rigida* Sieb. et Zucc. ネズ 17318**Cephalotaxaceae イヌガヤ科***Cephalotaxus harringtonia* (Knight) K. Koch イヌガヤ 16754, 16755**ANGIOSPERMAE 被子植物****Dicotyledoneae 双子葉植物, Choripetalae 離弁花類****Salicaceae ヤナギ科***Salix sachalinensis* Fr. Schm. オノエヤナギ 17472**Betulaceae カバノキ科***Alnus hirsuta* Turcz. ケヤマハンノキ 16888*Alnus pendula* Matsum. ヒメヤシャブシ (植栽・逸出) 16889*Alnus sieboldiana* Matsum. オオバヤシャブシ (植栽・逸出) 16886*Carpinus japonica* Blume クマシデ 16887*Carpinus laxiflora* (Sieb. et Zucc.) Bl. アカシデ 16884*Carpinus tschonoskii* Maxim. イヌシデ 16885**Fagaceae ブナ科***Castanea crenata* Sieb. et Zucc. クリ 17340*Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky ツブラジイ 17349, 17350*Lithocarpus glabra* (Thunb.) Nakai シリブカガシ 17346*Quercus acuta* Thunb. アカガシ 17337*Quercus glauca* Thunb. アラカシ 17339*Quercus myrsinaefolia* Blume シラカシ 17345*Quercus serrata* Thunb. コナラ 17341, 17342, 17343, 17344*Quercus sessilifolia* Blume ツクバネガシ 17347, 17348*Quercus variabilis* Blume アベマキ 17338**Ulmaceae ニレ科***Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ムクノキ 17269*Celtis sinensis* Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ 17268**Moraceae クワ科***Broussonetia kazinoki* Sieb. ヒメコウゾ 17037, 17038, 17039*Fatoua villosa* (Thunb.) Nakai クワクサ 17035, 17036*Ficus erecta* Thunb. イヌビワ 17034*Ficus oxyphylla* Miq. イタビカズラ 17033*Morus australis* Poir. ヤマゲワ 17040**Urticaceae イラクサ科***Boehmeria gracilis* C. H. Wright クサコアカソ 16831*Boehmeria nipononivea* Koidz. var. *concolor* (Makino) Ohwi アオカラムシ 16826*Boehmeria nivea* (L.) Gaudich. ssp. *nipononivea* (Koidz.) Kitam. クサマオ 16832*Boehmeria platanifolia* Fr. et Sav. メヤブマオ 16839, 16840, 16841, 16842, 16843*Boehmeria spicata* (Thunb.) Thunb. コアカソ 16833, 16834*Boehmeria sylvestris* (Pamp.) Wot. Wang アカソ 16828

- Elatostema umbellatum* Blume ヒメウワバミソウ 16836, 16837, 16838
Pellionia radicans (Sieb. et Zucc.) Wedd. オオサンショウソウ 16829, 16830
Pilea notata C. H. Wright コミヤマミズ 16835

Viscaceae ヤドリギ科

- Korthalsella opuntia* (Thunb.) Merr. ヒノキバヤドリギ 17471

Polygonaceae タデ科

- Antenoron filiforme* (Thunb.) Roberty et Vautier ミズヒキ 17190
Antenoron neo-filiforme (Nakai) Hara シンミズヒキ 17178, 17179
Persicaria lapathifolia (L.) S. F. Gray オオイヌタデ 17175, 17176
Persicaria longiseta (De Bruyn) Kitagawa イヌタデ 17174
Persicaria makinoi (Nakai) Nakai オオネバリタデ 17177
Persicaria nepalensis (Meisn.) H. Gross タニソバ 17181
Persicaria nipponensis (Makino) H. Gross ヤノネグサ 17194
Persicaria perfoliata (L.) H. Gross イシミカワ 17170
Persicaria posumbu (D. Don.) H. Gross var. *laxiflora* (Meisn.) Hara ハナタデ 17182
Persicaria pubescens (Blume) Hara ボントクタデ 17185, 17186, 17187, 17188
Persicaria senticosa (Fr. et Sav.) H. Gross ママコノシリヌグイ 17189
Persicaria sieboldii (Meisn.) Ohki アキノウナギツカミ 17167, 17168
Persicaria thunbergii (Sieb. et Zucc.) H. Gross ミゾソバ 17191, 17192, 17193
Polygonum capitatum Hamilt. ヒメツルソバ (広島県植物誌未掲載種) 17184
 近年園芸植物として各所で栽培されている。逸出したと考えられる。
Reynoutria japonica Houtt. イタドリ 17171, 17172, 17173
Rumex acetosa L. スイバ 17180
Rumex acetosella L. ヒメスイバ (外来) 17183
Rumex conglomeratus Murr. アレチギシギシ (外来) 17169

Phytolaccaceae ヤマゴボウ科

- Phytolacca americana* L. ヨウシュヤマゴボウ (外来) 17477

Caryophyllaceae ナデシコ科

- Cerastium glomeratum* Thuill. オランダミミナグサ (外来) 17245
Cucubalus baccifer L. var. *japonicus* Miq. ナンバンハコベ 17252, 17253
Dianthus superbus L. var. *longicalycinus* (Maxim.) Williams カワラナデシコ 17246
Silene armeria L. ムシトリナデシコ (外来) 17262
Silene firma Sieb. et Zucc. フシグロ 17258, 17259
Silene firma Sieb. et Zucc. f. *pubescens* (Makino) Ohwi et Ohashi ケフシグロ 17247
Stellaria alsine Grimm var. *undulata* (Thunb.) Ohwi ノミノフスマ 17254, 17255, 17256
Stellaria aquatica (L.) Scop. ウシハコベ 17241, 17242, 17243
Stellaria diversiflora Maxim. サワハコベ 17251
Stellaria media (L.) Villars コハコベ 17248, 17249, 17250, 17257
Stellaria monosperma Hamilt. var. *japonica* Maxim. オオヤマハコベ 17244
Stellaria neglecta Weihe ミドリハコベ 17260, 17261

Chenopodiaceae アカザ科

- Chenopodium ambrosioides* L. var. *anthelminticum* (L.) A. Gray アリタソウ (外来) 16690

Amaranthaceae ヒユ科

- Achyranthes bidentata* Bl. var. *japonica* Miq. ヒカゲイノコズチ 17323, 17324
Achyranthes bidentata Bl. var. *tomentosa* (Honda) Hara ヒナタイノコズチ 17322

Magnoliaceae モクレン科*Magnolia hypoleuca* Sieb. et Zucc. ホオノキ 17464*Magnolia salicifolia* (Sieb. et Zucc.) Maxim. タムシバ 17462, 17463**Schisandraceae** マツブサ科*Kadsura japonica* (Thunb.) Dunal サネカズラ 17368, 17369*Schisandra repanda* (Sieb. et Zucc.) Radlk. f. *hypoleuca* (Makino) Ohwi ウラジロマツブサ 17366, 17367**Illiciaceae** シキミ科*Illicium anisatum* L. シキミ 17073, 17074**Lauraceae** クスノキ科*Actinodaphne lancifolia* (Sieb. et Zucc.) Meisn. カゴノキ 17002*Cinnamomum japonicum* Sieb. ex Nakai ヤブニッケイ 17012*Lindera erythrocarpa* Makino カナクギノキ 17003*Lindera glauca* (Sieb. et Zucc.) Blume ヤマコウバシ 17013, 17014*Lindera umbellata* Thunb. クロモジ 17004, 17005*Machilus japonica* Sieb. ex Sieb. et Zucc. ホソバタブ 17011*Machilus thunbergii* Sieb. et Zucc. タブノキ 17010*Neolitsea aciculata* (Blume) Koidz. イヌガシ 17015*Neolitsea sericea* (Blume) Koidz. シロダモ 17006, 17007*Parabenzoin praecox* (Sieb. et Zucc.) Nakai アブラチャン 17000, 17001*Parabenzoin trilobum* (Sieb. et Zucc.) Nakai シロモジ 17008, 17009**Ranunculaceae** キンポウゲ科*Cimicifuga simplex* Wormsk. サラシナシヨウマ 16997*Clematis apiifolia* DC. ボタンヅル 16999*Clematis japonica* Thunb. ハンシヨウヅル [写真]*Clematis terniflora* DC. センニンソウ 16998*Ranunculus japonicus* Thunb. ウマノアシガタ 16994*Ranunculus silerifolius* Lev. キツネノボタン 16995, 16996**Lardizabalaceae** アケビ科*Akebia pentaphylla* Makino ゴヨウアケビ 16716, 16717*Akebia quinata* (Thunb.) Decne. アケビ 16715*Akebia trifoliata* (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ 16718, 16719*Stauntonia hexaphylla* (Thunb.) Decne. ムベ 16720, 16721, 16722**Menispermaceae** ツヅラフジ科*Cocculus orbiculatus* (L.) Forman アオツヅラフジ 17214, 17215, 17216, 17217*Sinomenium acutum* (Thunb.) Rehd. et Wilson ツヅラフジ 17218**Saururaceae** ドクダミ科*Houttuynia cordata* Thunb. ドクダミ 17237**Chloranthaceae** センリョウ科*Chloranthus serratus* (Thunb.) Roem. et Schult. フタリシズカ 17165, 17166*Sarcandra glaber* (Thunb.) Nakai センリョウ 15083, 17164**Aristolochiaceae** ウマノスズクサ科*Heterotropa hexaloba* (F. Maek.) F. Maek. サンヨウアオイ 16847**Actinidiaceae** マタタビ科*Actinidia chinensis* Planch. オニマタタビ (別名キウイ, 逸出) 17360*Actinidia hypoleuca* Nakai ウラジロマタタビ 17356, 17357, 17358, 17359

Actinidia polygama (Sieb. et Zucc.) Planch. マタタビ 17361, 17362

Theaceae ツバキ科

Camellia japonica L. ヤブツバキ 17224

Cleyera japonica Thunb. サカキ 17219

Eurya japonica Thunb. ヒサカキ 17221, 17222, 17223

Thea sinensis L. チャノキ (逸出) 17220

Clusiaceae オトギリソウ科

Hypericum erectum Thunb. オトギリソウ 16856

Hypericum laxum (Blume) Koidz. コケオトギリ 16857, 16858

Hypericum pseudopetiolatum R. Keller サワオトギリ 16859

Papaveraceae ケシ科

Corydalis incisa (Thunb.) Pers. ムラサキケマン 17046, 17047, 17048, 17049, 17050

Corydalis pallida (Thunb.) Pers. フウロケマン 17043, 17044

Macleaya cordata (Willd.) R. Br. タケニグサ 17041

Papaver dubium L. ナガミヒナゲシ (外来) 17042

Brassicaceae アブラナ科

Arabis hirsuta (L.) Scop. ヤマハタザオ 16734

Cardamine impatiens L. ジャニンジン 16730

Cardamine scutata Thunb. ヤマタネツケバナ 16725, 16726, 16731, 16732, 16733

Eutrema japonica (Miq.) Koidz. ワサビ (植栽・逸出) 16735

Nasturtium officinale R. Br. オランダガラシ (外来) 16727, 16728

Rorippa indica (L.) Hochr. イヌガラシ 16723

Orychophragmus violaceus (L.) O. E. Schulz オオアラセイトウ (別名シヨカッサイ, ムラサキハナナ, 逸出)
16724

Thlaspi arvense L. グンバイナズナ (外来) 16729

Crassulaceae ベンケイソウ科

Sedum bulbiferum Makino コモチマンネングサ 17351

Sedum subtile Miq. ヒメレンゲ 17352, 17353, 17354

Saxifragaceae ユキノシタ科

Astilbe microphylla Knoll チダケサシ 17503

Cardiandra alternifolia Sieb. et Zucc. クサアジサイ 17495

Chrysosplenium grayanum Maxim. ネコノメソウ 17505

Chrysosplenium japonicum (Maxim.) Makino ヤマネコノメソウ 17508

Chrysosplenium pilosum Maxim. var. *sphaerospermum* (Maxim.) Hara コガネネコノメソウ 17502

Deutzia crenata Sieb. et Zucc. ウツギ 17494

Hydrangea × *amagiana* Makino アマギコアジサイ 17491, 17492

Hydrangea hirta (Thunb.) Sieb. コアジサイ 17496, 17497

Hydrangea luteo-venosa Koidz. コガクウツギ 17498, 17499, 17500, 17501

Hydrangea macrophylla (Thunb.) Ser. var. *acuminata* (Sieb. et Zucc.) Makino ヤマアジサイ 17506, 17507

Mitella furusei Ohwi var. *subramosa* Wakabayashi チャルメルソウ 17504

Saxifraga stolonifera Meerb. ユキノシタ (逸出) 17509

Schizophragma hydrangeoides Sieb. et Zucc. イワガラミ 17493

Rosaceae バラ科

Agrimonia japonica (Miq.) Koidz. キンミズヒキ 17289, 17290

Amelanchier asiatica (Sieb. et Zucc.) Endl. ザイフリボク 17296

- Duchesnea chrysantha* (Zoll. et Mor.) Miq. ヘビイチゴ 17307, 17308
Duchesnea indica (Andr.) Focke ヤブヘビイチゴ 17310, 17311, 17312
Geum japonicum Thunb. ダイコンソウ 17298
Potentilla fragarioides L. var. *major* Maxim. キジムシロ 17288
Potentilla freyniana Bornm. ミツバツチグリ 17309
Potentilla sundaica (Blume) O. Kuntze var. *robusta* (Fr. et Sav.) Kitagawa オヘビイチゴ 17283
Pourthiaea villosa (Thunb.) Decne. var. *laevis* (Thunb.) Stapf カマツカ 17287
Prunus grayana Maxim. ウワミズザクラ 17280, 17281
Prunus jamasakura Sieb. ex Koidz. ヤマザクラ 17314
Prunus spinulosa Sieb. et Zucc. リンボク 17315
Prunus verecunda Koehne カスミザクラ 17284, 17285, 17286
Rhaphiolepis umbellata (Thunb.) Makino シャリンバイ 17297
Rosa multiflora Thunb. ノイバラ 17303
Rosa sambucina Koidz. ヤマイバラ 17313
Rubus corchorifolius L. fil. ビロウドイチゴ 17305, 17306
Rubus crataegifolius Bunge クマイチゴ 17292, 17293
Rubus hirsutus Thunb. クサイチゴ 17291
Rubus microphyllus L. fil. ニガイチゴ 17302
Rubus minusculus Leveille et Vaniot ヒメバライチゴ 17304
Rubus palmatus Thunb. ナガバモミジイチゴ 17299
Rubus parvifolius L. ナワシロイチゴ 17300, 17301
Rubus pectinellus Maxim. コバノフユイチゴ 17295
Rubus phoenicolasius Maxim. エビガライチゴ 17282
Rubus sumatranus Miq. コジキイチゴ 17294
Sanguisorba officinalis L. ワレモコウ 17316
Sorbus japonica (Decne.) Hedl. ウラジロノキ 17277, 17278, 17279

Fabaceae マメ科

- Albizia julibrissin* Durazz. ネムノキ 17403, 17404
Amorpha fruticosa L. イタチハギ (植栽・逸出) 17375, 17376
Amphicarpaea bracteata (L.) Fernald ssp. *edgeworthii* (Benth.) Ohashi var. *japonica* (Oliver) Ohashi
 ヤブマメ 17428
Apios fortunei Maxim. ホドイモ 17412, 17413
Astragalus sinicus L. ゲンゲ 17385
Caesalpinia decapetala (Roth.) Alst. var. *japonica* (Sieb. et Zucc.) Ohashi ジャケツイバラ 17391, 17392
Desmodium oldhamii Oliver フジカンゾウ 17409, 17410
Desmodium paniculatum (L.) DC. アレチヌスビトハギ (外来) 17370, 17371, 17372, 17373, 17374
Desmodium podocarpium DC. ssp. *fallax* (Schindl.) Ohashi ケヤブハギ 17384
Desmodium podocarpium DC. ssp. *oxyphyllum* (DC.) Ohashi ヌスビトハギ 17399, 17400, 17401
Desmodium podocarpium DC. ssp. *oxyphyllum* (DC.) Ohashi var. *mandshuricum* Maxim. ヤブハギ 17423, 17424
Dumasia truncata Sieb. et Zucc. ノササゲ 17405
Indigofera pseudotinctoria Matsum. コマツナギ 17386, 17387
Kummerowia striata (Thunb.) Schindler ヤハズソウ 17422
Lespedeza bicolor Turcz. ヤマハギ 17429, 17430
Lespedeza cuneata (Du Mont. d. Cours.) G. Don メドハギ 17420, 17421
Lespedeza cyrtobotrya Miq. マルバハギ 17418, 17419

- Lespedeza homoloba* Nakai ツクシハギ 17397, 17398
Lespedeza pilosa (Thunb.) Sieb. et Zucc. ネコハギ 17402
Lespedeza virgata (Thunb.) DC. マキエハギ 17414, 17415, 17416, 17417
Maackia floribunda (Miq.) Takeda ハネミイヌエンジュ 17406
Pueraria lobata (Willd.) Ohwi クズ 17381, 17382
Rhynchosia acuminatifolia Makino オオバタンキリマメ 17378, 17379
Robinia pseudoacacia L. ハリエンジュ (逸出) 17407
Sophora flavescens Ait. クララ 17383
Trifolium dubium Sibth. コメツブツメクサ (外来) 17388, 17389, 17390
Trifolium repens L. シロツメクサ (外来) 17393, 17394, 17395
Vicia hirsuta (L.) S. F. Gray スズメノエンドウ 17396
Vicia angustifolia L. ヤハズエンドウ (別名カラスノエンドウ) (外来) 17380
Vicia angustifolia L. var. *minor* (Bertol.) Ohwi ホソバヤハズエンドウ (別名ホソバカラスノエンドウ) (外来)

17411

Wisteria brachybotrys Sieb. et Zucc. ヤマフジ 17431, 17432*Wisteria floribunda* (Willd.) DC. フジ 17408**Oxalidaceae カタバミ科**

- Oxalis articulata* Savigny イモカタバミ (外来) 16876
Oxalis corniculata L. カタバミ 16878, 16879
Oxalis corymbosa DC. ムラサキカタバミ (外来) 16882, 16883
Oxalis griffithii Edgew. et Hook. fil. ミヤマカタバミ 16880, 16881
Oxalis stricata L. オッタチカタバミ (外来) 16877

Geraniaceae フウロソウ科

- Geranium carolinianum* L. アメリカフウロ (外来) 17325
Geranium thunbergii Sieb. et Zucc. ゲンノシヨウコ 17326, 17327

Euphorbiaceae トウダイグサ科

- Acalypha australis* L. エノキグサ 17229
Euphorbia maculata L. オオニシキソウ (外来) 17230
Mallotus japonicus (Thunb.) Muell. -Arg. アカメガシワ 17227, 17228
Mercurialis leiocarpa Sieb. et Zucc. ヤマアイ 17234, 17235, 17236
Phyllanthus flexuosus (Sieb. et Zucc.) Muell. コバンノキ 17231, 17232
Phyllanthus matsumurae Hayata ヒメミカンソウ 17233

Daphniphyllaceae ユズリハ科*Daphniphyllum macropodum* Miq. ユズリハ 17510**Rutaceae ミカン科**

- Boenninghausenia japonica* Nakai マツカゼソウ 17437, 17438
Skimmia japonica Thunb. ミヤマシキミ 17439
Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc. カラスザンショウ 17434
Zanthoxylum armatum Roxb. var. *subtrifoliatum* DC. フユザンショウ 17436
Zanthoxylum piperitum (L.) DC. サンショウ 17435
Zanthoxylum schinifolium Sieb. et Zucc. イヌザンショウ 17433

Polygalaceae ヒメハギ科*Polygala japonica* Houtt. ヒメハギ 17320**Anacardiaceae ウルシ科***Rhus javanica* L. var. *roxburgii* (DC.) Rehd. et Wils. ヌルデ [写真]

Aceraceae カエデ科

- Acer crataegifolium* Sieb. et Zucc. ウリカエデ 16866, 16867
Acer rufinerve Sieb. et Zucc. ウリハダカエデ 16868
Acer sieboldianum Miq. コハウチワカエデ 16869, 16870, 16871

Sabiaceae アワブキ科

- Meliosma myriantha* Sieb. et Zucc. アワブキ 16739

Aquifoliaceae モチノキ科

- Ilex buergeri* Miq. シイモチ (広島県 NT) 17466
Ilex crenata Thunb. イヌツゲ 17465
Ilex latifolia Thunb. タラヨウ 17470
Ilex micrococca Maxim. タマミズキ 17469
Ilex pedunculosa Miq. ソヨゴ 17467, 17468

Celastraceae ニシキギ科

- Celastrus orbiculatus* Thunb. ツルウメモドキ 17267
Euonymus alatus (Thunb.) Sieb. f. *ciliato-dentatus* (Fr. et Sav.) Hiyama コマユミ 17263, 17264, 17265
Euonymus oxyphyllus Miq. ツリバナ 17266

Staphyleaceae ミツバウツギ科

- Euscaphis japonica* (Thunb.) Kanitz ゴンズイ 17450, 17451, 17452

Rhamnaceae クロウメモドキ科

- Frangula crenata* (Sieb. et Zucc.) Miq. イソノキ 17028, 17029, 17030, 17031, 17032

Vitaceae ブドウ科

- Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiyama var. *heterophylla* (Thunb.) Momiyama ノブドウ 17335
Ampelopsis glandulosa (Wall.) Momiyama var. *heterophylla* (Thunb.) Momiyama f. *citrulloides* (Lebas) Rehd. キレ
 ハノブドウ 17330, 17331
Cayratia japonica (Thunb.) Gagn. ヤブガラシ 17336
Parthenocissus tricuspidata (Sieb. et Zucc.) Planch. ツタ 17334
Vitis ficifolia Bunge var. *lobata* (Regel) Nakai エビヅル 17329
Vitis flexuosa Thunb. サンカクヅル 17332, 17333
Vitis saccharifera Makino アマヅル 17328

Thymelaeaceae ジンチョウゲ科

- Daphne kiusiana* Miq. コシヨウノキ [写真]
Diplomorpha sikokiana (Fr. et Sav.) Honda ガンピ 17109, 17110, 17111
Edgeworthia chrysantha Lindl. ミツマタ (植栽・逸出) 17112, 17113

Elaeagnaceae グミ科

- Elaeagnus glabra* Thunb. ツルグミ 17025, 17026
Elaeagnus pungens Thunb. ナワシログミ 17027

Violaceae スミレ科

- Viola grypoceras* A. Gray タチツボスミレ 17144, 17145
Viola grypoceras A. Gray var. *exilis* (Miq.) Nakai コタチツボスミレ 17137, 17138, 17139
Viola keiskei Miq. マルバスミレ 17153
Viola mandshurica W. Becker スミレ 17142, 17143
Viola maximowicziana Makino コミヤマスミレ [写真]
Viola ovato-oblonga (Miq.) Makino ナガバタチツボスミレ 17148, 17149, 17150, 17151
Viola verecunda A. Gray ツボスミレ 17146, 17147
Viola violacea Makino シハイスミレ 17140, 17141

Viola sororia 'Snow Princess' ビオラ・ソロリア 'スノープリンセス' (逸出) 17152

Stachyuraceae キブシ科

Stachyurus praecox Sieb. et Zucc. キブシ 16989, 16990

Cucurbitaceae ウリ科

Gynostemma pentaphyllum (Thunb.) Makino アマチャヅル 16848, 16849

Melothria japonica (Thunb.) Maxim. スズメウリ 16850

Onagraceae アカバナ科

Circaea mollis Sieb. et Zucc. ミズタマソウ 16710, 16711, 16712

Epilobium pyrricholophum Fr. et Sav. アカバナ 16706

Ludwigia epilobioides Maxim. チョウジタデ 16709

Oenothera biennis L. メマツヨイグサ (外来) 16713, 16714

Oenothera laciniata Hill コマツヨイグサ (外来) 16707, 16708

Alangiaceae ウリノキ科

Alangium platanifolium (Sieb. et Zucc.) Harms var. *trilobum* (Miq.) Ohwi ウリノキ 16851, 16852

Cornaceae ミズキ科

Aucuba japonica Thunb. アオキ 17441, 17442, 17443, 17444

Benthamidia japonica Hara ヤマボウシ 17448, 17449

Cornus controversa Hemsley ミズキ 17447

Cornus macrophylla Wall. クマノミズキ 17445

Helwingia japonica (Thunb.) F. G. Dietr. var. *parvifolia* Yamanaka コバノハナイカダ 17446

Araliaceae ウコギ科

Acanthopanax sciadophylloides Fr. et Sav. コシアブラ 16846

Dendropanax trifidus (Thunb.) Makino カクレミノ 16844

Evodiopanax innovans (Sieb. et Zucc.) Nakai タカノツメ [写真]

Hedera rhombea (Miq.) Bean キヅタ 16845

Apiaceae セリ科

Cryptotaenia japonica Hassk. ミツバ 17160

Hydrocotyle javanica Thunb. オオバチドメ 14329, 17156, 17157, 17158

Hydrocotyle ramiflora Maxim. オオチドメ 17154, 17155

Oenanthe javanica (Blume) DC. セリ 17159

Osmorhiza aristata (Thunb.) Rydberg ヤブニンジン 17162, 17163

Torilis japonica (Houtt.) DC. ヤブジラミ 17161

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物, Sympetalae 合弁花類

Clethraceae リョウブ科

Clethra barbinervis Sieb. et Zucc. リョウブ 17556, 17557

Pyrolaceae イチヤクソウ科

Chimaphila japonica Miq. ウメガサソウ 16751

Monotropastrum humile (D. Don) Hara ギンリョウソウ 16752

Pyrola japonica Klenze イチヤクソウ 16750

Ericaceae ツツジ科

Lyonia ovalifolia (Wall.) Drude var. *elliptica* (Sieb. et Zucc.) Hand. -Mazz. ネジキ 17206, 17207, 17208

Pieris japonica (Thunb.) D. Don アセビ 17196, 17197

Rhododendron obtusum Planch. var. *kaempferi* (Planch.) Wilson ヤマツツジ 17211, 17212, 17213

Rhododendron kaempferi Planch. var. *tubiflorum* Komatsu ヒメヤマツツジ 17209, 17210

- Rhododendron reticulatum* D. Don コバノミツバツツジ 17199, 17200, 17201
Rhododendron serpyllifolium Miq. f. *albiflorum* (Makino) Hara セトウチウンゼンツツジ 17202
Vaccinium japonicum Maxim. アクシバ 17195
Vaccinium oldhamii Miq. ナツハゼ 17203, 17204, 17205
Vaccinium smallii A. Gray var. *versicolor* (Koidz.) Yamaz. カンサイスノキ 17198

Myrsinaceae ヤブコウジ科

- Ardisia japonica* (Thunb.) Blume ヤブコウジ 17475, 17476
Maesa japonica (Thunb.) Moritzi イズセンリョウ 17473, 17474

Primulaceae サクラソウ科

- Lysimachia acroadenia* Maxim. ミヤマタゴボウ 17069
Lysimachia clethroides Duby オカトラノオ 17064, 17065
Lysimachia japonica Thunb. コナスビ 17066, 17067, 17068

Ebenaceae カキノキ科

- Diospyros kaki* Thunb. カキノキ 16875

Styracaceae エゴノキ科

- Pterostyrax corymbosus* Sieb. et Zucc. アサガラ 16853
Styrax japonicus Sieb. et Zucc. エゴノキ 16854

Symplocaceae ハイノキ科

- Symplocos coreana* (Lev.) Ohwi タンナサワフタギ 17274
Symplocos lucida Sieb. et Zucc. クロキ 17270, 17271, 17272
Symplocos prunifolia Sieb. et Zucc. クロバイ 17273

Oleaceae モクセイ科

- Fraxinus sieboldiana* Bl. マルバアオダモ 17461
Ligustrum japonicum Thunb. ネズミモチ 17459, 17460

Gentianaceae リンドウ科

- Gentiana scabra* Bunge var. *buergeri* Maxim. リンドウ 17564
Gentiana zollingeri Fawcett フデリンドウ 17563
Swertia bimaculata (Sieb. et Zucc.) Hook. et Arn. アケボノソウ 17558, 17559
Swertia japonica (Schultes) Makino センブリ 17560
Tripterospermum japonicum (Sieb. et Zucc.) Maxim. ツルリンドウ 17561, 17562

Apocynaceae キョウチクトウ科

- Trachelospermum asiaticum* (Sieb. et Zucc.) Nakai f. *intermedium* (Nakai) Murata テイカズラ 16992, 16993
Vinca major L. ツルニチニチソウ (広島県植物誌未掲載種) 16991

観賞用に栽培されていたものが逸出したと思われる。人家の近くなどで広範囲に生育している。

Asclepiadaceae ガガイモ科

- Cynanchum atratum* Bunge フナバラソウ (環境省 VU, 広島県 NT) 16874
Marsdenia tomentosa Morr. et Decne. キジョラン [写真]
Tylophora aristolochioides Miq. オオカモメヅル 16872, 16873

Rubiaceae アカネ科

- Damnacanthus indicus* Gaertn. fil. アリドオシ 16692
Damnacanthus macrophyllus Sieb. var. *giganteus* (Makino) Koidz. ナガバジュズネノキ (広島県植物誌未確認種, 広島県 NT) 15084, 16700
Galium kikumugura Ohwi キクムグラ 16696
Galium pseudo-asprellum Makino オオバナヤエムグラ 16693, 16694, 16695
Galium spurium L. var. *echinospermon* (Wallr.) Hayek ヤエムグラ 16704, 16705

- Hedyotis lindleyana* Hook. var. *hirsuta* (L. fil.) Hara ハシカグサ 16701
Ophiorrhiza japonica Bl. サツマイナモリ 16697, 16698, 16699
Paederia scandens (Lour.) Merr. ヘクソカズラ 16702, 16703
Rubia argyi (Lev. et Van.) Hara アカネ 16691

Boraginaceae ムラサキ科

- Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. et Mey. ハナイバナ 17454, 17455
Trigonotis brevipes (Maxim.) Maxim. ミズタビラコ 17456, 17457, 17458
Trigonotis peduncularis (Trevir.) Benth. キュウリグサ 17453

Verbenaceae クマツヅラ科

- Callicarpa japonica* Thunb. ムラサキシキブ 17020, 17021, 17022
Callicarpa mollis Sieb. et Zucc. ヤブムラサキ 17016, 17023, 17024
Caryopteris divaricata (Sieb. et Zucc.) Maxim. カリガネソウ 17018
Clerodendrum trichotomum Thunb. クサギ 17019
Phryma leptostachya L. ssp. *asiatica* Hara ハエドクソウ 17275 (ハエドクソウ科に扱われることがある)
Verbena brasiliensis Vell. アレチハナガサ (外来) 17017

Lamiaceae シソ科

- Ajuga decumbens* Thunb. キランソウ 17086
Ajuga nipponensis Makino ジュウニヒトエ 17090
Ajuga yesoensis Maxim. ニシキゴロモ 17096, 17097
Clinopodium gracile (Benth.) O. Kuntze トウバナ 17094
Clinopodium micranthum (Regel) Hara イヌトウバナ 17079, 17080, 17081, 17082, 17083
Clinopodium multicaule (Maxim.) O. Kuntze ヤマトウバナ 17103, 17104, 17105
Elsholtzia ciliata (Thunb.) Hylander ナギナタコウジュ 17095
Glechoma hederacea L. var. *grandis* (A. Gray) Kudo カキドオシ 17084
Lamium purpureum L. ヒメオドリコソウ (外来) 17099
Leonurus japonicus Houtt. メハジキ 17102
Leucosceptrum japonicum (Miq.) Kitam. et Murata テンニンソウ 17093
Mosla dianthera (Hamilt.) Maxim. ヒメジソ 17100, 17101
Perilla frutescens (L.) Britton var. *crispa* (Thunb.) Decne. f. *viridis* (Makino) Makino シソ (植栽・逸出) 17088
Rabdosia inflexa (Thunb.) Hara ヤマハッカ 17106, 17107
Rabdosia japonica (Burm. fil.) Hara ヒキオコシ 17098
Rabdosia longituba (Miq.) Hara アキチヨウジ 15598, 17075, 17076, 17077
Salvia japonica Thunb. アキノタムラソウ 17078
Salvia nipponica Miq. キバナアキギリ 17085
Scutellaria indica L. var. *parvifolia* (Makino) Makino コバノタツナミ 17087
Scutellaria laeteviolacea Koidz. シソバタツナミソウ 17089
Scutellaria muramatsui Hara デワノタツナミソウ 15085
Teucrium viscidum Blume var. *miquelianum* (Maxim.) Hara ツルニガクサ 17091, 17092

Solanaceae ナス科

- Physalistrum japonicum* (Fr. et Sav.) Honda イガホオズキ 16688
Solanum lyratum Thunb. ヒヨドリジョウゴ 17239
Solanum maximowiczii Koidz. マルバノホロシ 17240
Tubocapsicum anomalum (Fr. et Sav.) Makino ハダカホオズキ 17238

Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

- Digitalis purpurea* L. ジギタリス (逸出) 17055

- Linaria canadensis* (L.) Dum. マツバウンラン (外来) 17058
Lindernia procumbens (Krock.) Borbas アゼナ 17051
Mazus miquelii Makino ムラサキサギゴケ 17063
Mazus pumilus (Brum. fil.) V. Steenis トキワハゼ 17057
Melampyrum laxum Miq. var. *nikkoense* Beauverd f. *edentatum* (Tuyama) Yamaz. ミヤジマママコナ 17062
Melampyrum roseum Maxim. var. *japonicum* Fr. et Sav. ママコナ 17059
Mimulus nepalensis Bentham ミゾホオズキ 17060, 17061
Veronica arvensis L. タチイヌノフグリ (外来) 17056
Veronica muratae Yamaz. サンインクワガタ 17054
Veronica persica Poiret オオイヌノフグリ (外来) 17052

Bignoniaceae ノウゼンカズラ科

- Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steuder キリ (植栽・逸出) 17053

Orobanchaceae ハマウツボ科

- Aeginetia indica* L. ナンバンギセル 17276

Plantaginaceae オオバコ科

- Plantago asiatica* L. オオバコ 16855

Caprifoliaceae スイカズラ科

- Abelia serrata* Sieb. et Zucc. コツクバネウツギ 17115, 17116
Abelia spathulata Sieb. et Zucc. ツクバネウツギ 17123, 17124, 17125
Lonicera gracilipes Miq. var. *glabra* Miq. ウグイスカグラ 17114
Lonicera gracilipes Miq. var. *glandulosa* Maxim. ミヤマウグイスカグラ 17128, 17129
Lonicera japonica Thunb. スイカズラ 17121, 17122
Sambucus racemosa L. ssp. *sieboldiana* (Miq.) Hara ニワトコ 17126, 17127
Viburnum erosum Thunb. var. *punctatum* Fr. et Sav. コバノガマズミ 17117, 17118, 17119, 17120
Viburnum plicatum Thunb. var. *tomentosum* (Thunb.) Miq. ヤブデマリ 17135
Viburnum urceolatum Sieb. et Zucc. ヤマシグレ [写真]
Viburnum wrightii Miq. ミヤマガマズミ 17130, 17131, 17132
Weigela floribunda (Sieb. et Zucc.) K. Koch ヤブウツギ 17133, 17134

Valerianaceae オミナエシ科

- Patrinia scabiosaefolia* Fisch. オミナエシ 16861, 16862
Patrinia villosa (Thunb.) Juss. オトコエシ 16860
Valeriana flaccidissima Maxim. ツルカノコソウ 16863, 16864

Campanulaceae キキョウ科

- Adenophora triphylla* (Thunb.) A. DC. var. *japonica* (Regel) Hara ツリガネニンジン 16927
Campanula punctata Lam. ホタルブクロ 16930, 16931
Codonopsis lanceolata (Sieb. et Zucc.) Trautv. ツルニンジン 16928
Lobelia chinensis Lour. ミゾカクシ 16932
Peracarpa carnosus (Wall.) Hook. fil. et Thomson var. *circaeoides* (Fr. Schm.) Makino タニギキョウ 16926
Platycodon grandiflorum (Jacq.) A. DC. キキョウ (環境省 VU, 広島県 NT) 16924
Specularia perfoliata (L.) A. DC. キキョウソウ (外来) 16925
Wahlenbergia marginata (Thunb.) A. DC. ヒナギキョウ 16929

Asteraceae キク科

- Adenocaulon himalaicum* Edgew. ノブキ 16965
Ainsliaea acerifolia Sch. -Bip. モミジハグマ 16981
Ainsliaea apiculata Sch. -Bip. キッコウハグマ 16943

- Ambrosia artemisiifolia* L. var. *elatior* (L.) Descurtiz ブタクサ (外来) 16975
Artemisia iwayomogi Kitam. イワヨモギ (植栽・逸出) 16689
Artemisia japonica Thunb. オトコヨモギ 16938
Artemisia princeps Pampan. ヨモギ 16987
Aster ageratoides Turcz. ssp. *ovatus* (Fr. et Sav.) Kitam. ノコンギク 16963, 16964
Aster scaber Thunb. シラヤマギク 16953, 16954
Bidens frondosa L. アメリカセンダングサ (外来) 16935
Carpesium abrotanoides L. ヤブタバコ 16984
Carpesium divaricatum Sieb. et Zucc. ガンクビソウ 16941
Carpesium glossophyllum Maxim. サジガンクビソウ 16949
Carpesium rosulatum Miq. ヒメガンクビソウ 16970
Centipeda minima (L.) A. Braun et Ascherson トキンソウ 16959
Cirsium japonicum DC. ノアザミ 16960
Cirsium nipponicum (Maxim.) Makino var. *yoshinoi* (Nakai) Kitam. ヨシノアザミ 16986
Crassocephalum crepidioides (Benth.) S. Moore ベニバナボロギク (外来) 16977
Dendranthema japonicum (Makino) Kitam. リュウノウギク 16988
Eclipta prostrata (L.) L. タカサブロウ 16957
Erechtites hieracifolia (L.) Rafin. ダンドボロギク 16958
Eupatorium chinense L. var. *oppositifolium* (Koidz.) Murata et H. Koyama ヒヨドリバナ 16974
Gnaphalium affine D. Don ハハコグサ 16969
Gnaphalium purpureum L. ウスベニチチコグサ 16936, 16937
Hemistepta lyrata Bunge キツネアザミ 16944
Hypochoeris radicata L. ブタナ (外来) 16976
Ixeris dentata (Thunb.) Nakai var. *albiflora* (Makino) Nakai f. *amplifolia* (Kitam.) Hiyama ハナニガナ 16966, 16967
Ixeris stolonifera A. Gray ゼシバリ 16951
Lactuca indica L. var. *indica* アキノノゲシ 16934
Lactuca sororia Miq. ムラサキニガナ 16979
Leibnitzia anandria (L.) Turcz. センボンヤリ 16956
Pertya scandens (Thunb.) Sch. -Bip. コウヤボウキ 16946
Picris hieracioides L. var. *glabrescens* (Regel) Ohwi コウゾリナ 16945
Rhynchospermum verticillatum Reinw. ex Blume シュウブンソウ 16952
Senecio nikoensis Miq. サワギク 16950
Siegesbeckia orientalis L. ssp. *glabrescens* (Makino) Kitam. コメナモミ 16947, 16948
Siegesbeckia orientalis L. ssp. *pubescens* (Makino) Kitam. メナモミ 16980
Solidago altissima L. セイタカアワダチソウ (外来) 16955
Solidago virgaurea L. var. *asiatica* Nakai アキノキリンソウ 16933
Sonchus oleraceus L. ノゲシ 16961, 16962
Stenactis annuus (L.) Cass. ヒメジョオン (外来) 16971, 16972, 16973
Syneilesis palmata (Thunb.) Maxim. ヤブレガサ 16985
Synurus palmatopinnatifidus (Makino) Kitam. キクバヤマボクチ 16942
Vittadinia triloba DC. ペラペラヨメナ (外来) 16978
Youngia denticulata (Houtt.) Kitam. ヤクシソウ 16982, 16983
Youngia denticulata (Houtt.) Kitam. f. *pinnatipartita* (Makino) Kitam. ハナヤクシソウ 16968
Youngia japonica (L.) DC. オニタビラコ 16939, 16940

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物

Alismataceae オモダカ科

Alisma canaliculatum A. Br. et Bouche ヘラオモダカ 16865

Liliaceae ユリ科

Aletris luteoviridis (Maxim.) Franch. ノギラン 17530

Aletris spicata (Thunb.) Bureau et Franch. ソクシンラン 17526

Aspidistra elatior Blume ハラン (逸出) 17531

Disporum sessile Don ホウチャクソウ 17533, 17534

Disporum smilacinum A. Gray チゴユリ 17527

Heloniopsis orientalis (Thunb.) C. Tanaka ショウジョウバカマ 17525

Hemerocallis fulva L. var. *kwanso* Regel ヤブカンゾウ 17537

Hosta sieboldiana (Lodd.) Engler オオバギボウシ 17514, 17515, 17516

Hosta sieboldii (Paxton) J. Ingram f. *lancifolia* (Miq.) Hara コバギボウシ 17519

Lilium cordatum (Thunb.) Koidz. ウバユリ 17513

Lilium japonicum Thunb. ササユリ 17521

Lilium leichtlinii Hook. var. *tigrinum* (Regel) Nichols コオニユリ 17518

Liriope minor (Maxim.) Makino ヒメヤブラン 17532

Liriope muscari (Decne.) Bailey ヤブラン 17538

Liriope spicata (Thunb.) Lour. コヤブラン 17520

Ophiopogon japonicus (L. fil.) Ker-Gawl. ジャノヒゲ 17524

Ophiopogon ohwii Okuyama ナガバジャノヒゲ 17529

Polygonatum lasianthum Maxim. ミヤマナルコユリ 17535, 17536

Polygonatum odoratum (Mill.) Druce var. *pluriflorum* (Miq.) Ohwi アマドコロ 17511

Reineckea carnea (Andr.) Kunth キチジョウソウ [写真]

Rohdea japonica (Thunb.) Roth オモト 17517

Scilla scilloides (Lindl.) Druce ツルボ 17528

Smilax china L. サルトリイバラ 17522, 17523

Smilax sieboldii Miq. ヤマカシユウ 17539

Tricyrtis affinis Makino ヤマジノホトトギス 17540, 17541

Tulipa edulis (Miq.) Baker アマナ 17512

Stemonaceae ビャクブ科

Croomia japonica Miq. ヒメナベワリ 17321

Amaryllidaceae ヒガンバナ科

Lycoris radiata (L'Herit.) Herb. ヒガンバナ 17317

Dioscoreaceae ヤマノイモ科

Dioscorea japonica Thunb. ヤマノイモ 17487, 17488, 17489, 17490

Dioscorea quinqueloba Thunb. カエデドコロ 17481, 17482, 17483, 17484, 17485, 17486

Dioscorea tokoro Makino オニドコロ 17478, 17479, 17480

Pontederiaceae ミズアオイ科

Monochoria vaginalis (Burm. fil.) Presl var. *plantaginea* (Roxb.) Solms-Laub. コナギ 17440

Iridaceae アヤメ科

Crocoshia × *crocoshiflora* (Lemoine ex Morren) N. E. Brown ヒメヒオウギズイセン (外来) 16738

Iris japonica Thunb. シャガ 16736

Sisyrinchium atlanticum Bickn. ニワゼキショウ (外来) 16737

Juncaceae イグサ科

- Juncus effusus* L. var. *decipiens* Buchen. イ 16740, 16741
Juncus tenuis Willd. クサイ 16742, 16743, 16744
Luzula capitata (Miq.) Nakai スズメノヤリ 16745
Luzula multiflora Lejeune ヤマスズメノヒエ 16747, 16748, 16749
Luzula plumosa E. Meyer var. *macrocarpa* (Buchen.) Ohwi ヌカボシソウ 16746

Commelinaceae ツユクサ科

- Commelina communis* L. ツユクサ 17225
Pollia japonica Thunb. ヤブミヨウガ 17226

Eriocaulaceae ホシクサ科

- Eriocaulon hondoense* Satake ニッポンイヌノヒゲ 17355

Poaceae イネ科

- Agropyron racemiferum* (Steud.) Koidz. アオカモジグサ 16757
Agrostis alba L. コヌカグサ (外来) 16782
Agrostis clavata Trin. ssp. *matsumurae* (Hack.) Tateoka ヌカボ 16894
Aira caryophyllea L. ヌカススキ (外来) 16804
Alopecurus aequalis Sobol. スズメノテッポウ 16793
Alopecurus pratensis L. オオスズメノテッポウ (広島県植物誌未掲載種) 16771, 16772
 近年, 広島県廿日市市吉和で確認された (世羅 2009).
Andropogon virginicus L. メリケンカルカヤ (外来) 16824
Arthraxon hispidus (Thunb.) Makino コブナグサ 16784
Arundinella hirta (Thunb.) C. Tanaka トダシバ 16895
Arundinella hirta (Thunb.) C. Tanaka var. *ciliata* Koidz. ウスゲトダシバ 16764
Brachypodium sylvaticum (Huds.) P. Beauv. ヤマカモジグサ 16825
Briza maxima L. コバンソウ (外来) 16783
Briza minor L. ヒメコバンソウ (外来) 16815
Bromus catharticus Vahl イヌムギ (外来) 16762
Bromus pauciflorus (Thunb.) Hack. キツネガヤ 16893
Calamagrostis arundinacea (L.) Roth var. *brachytricha* (Steud.) Hack. ノガリヤス 16809
Coix lacryma-jobi L. ジュズダマ 16790
Cynodon dactylon (L.) Pers. ギョウギシバ 16776
Dactylis glomerata L. カモガヤ (外来) 16775
Digitaria ciliaris メヒシバ 16822, 16823
Eccoilopus cotulifer (Thunb.) A. Camus アブラススキ 16760
Echinochloa crus-galli (L.) Beauv. var. *oryzicola* (Vasing.) Ohwi タイヌビエ 16795
Eragrostis curvula (Schrud.) Nees シナダレスズメガヤ (外来) 16787
Eragrostis ferruginea (Thunb.) Beauv. カゼクサ 16774
Festuca arundinacea Schreb. オニウシノケグサ (外来) 16773
Festuca ovina L. var. *ovina* ウシノケグサ 16763
Festuca ovina L. var. *coreana* (St. Yves) St. Yves アオウシノケグサ 16756
Festuca parvigluma Steud. トボシガラ 16801
Festuca pratensis Hudson ヒロハノウシノケグサ (外来) 16816
Imperata cylindrica (L.) Beauv. var. *koenigii* (Retz.) Durand et Sching チガヤ 16796
Isachne nipponensis Ohwi ハイチゴザサ 16810
Leersia sayanuka Ohwi サヤヌカグサ 16786

- Lolium multiflorum* Lamarck ネズミムギ (外来) 16807, 16808
Lophatherum gracile Brongn. ササクサ 16785
Microstegium nudum (Trin.) A. Camus ミヤマササガヤ 16819
Microstegium vimineum (Trin.) A. Camus ヒメアシボン 16814
Microstegium vimineum (Trin.) A. Camus var. *polystachyum* (Fr. et Sav.) T. Koyama アシボン 16759
Miscanthus sinensis Anderss. ススキ 16791
Oplismenus undulatifolius (Ard.) Roemer et Schu var. *japonicus* (Steud.) Koidz. コチヂミザサ 16779, 16780
Panicum bisulcatum Thunb. スカキビ 16802, 16803
Panicum dichotomiflorum Michx. オオクサキビ (外来) 16770
Paspalum dilatatum Poir. シマスズメノヒエ (外来) 16789
Paspalum notatum Flugge アメリカスズメノヒエ (外来) 16761
Paspalum thunbergii Kunth スズメノヒエ 16794
Pennisetum alopecuroides (L.) Spreng. f. *purpurascens* (Thunb.) Ohwi チカラシバ 16797
Phalaris arundinacea L. クサヨシ 16778
Phragmites japonica Steud. ツルヨシ 16800
Phyllostachys bambusoides Sieb. et Zucc. マダケ (植栽・逸出) 16817
Poa acroleuca Steud. ミゾイチゴツナギ 16818
Poa annua L. スズメノカタビラ 16792
Poa crassinervis Honda ツクシスズメノカタビラ 16798, 16799
Polypogon fugax Steud. ヒエガエリ 16812, 16813
Sacciolepis indica (L.) Chase ハイヌメリ 16811
Sacciolepis indica (L.) Chase var. *oryztorum* (Makino) Ohwi ヌメリグサ 16805
Sasa pulcherrima Koidz. ウツクシザサ 16765, 16766
Setaria faberi Herrm. アキノエノコログサ 16758
Setaria pallide-fusca (Schumach.) Stapf et C. E. Hubb. コツブキンエノコロ 16781
Setaria pumilla (Poir.) Schult. キンエノコロ 16777
Setaria × *pycnocoma* (Steud.) Henr. ex Nakai オオエノコロ 16769
Setaria viridis (L.) Beauv. エノコログサ 16767
Setaria viridis (L.) Beauv. f. *misera* Honda ムラサキエノコロ 16820, 16821
Spodiopogon sibiricus Trin. オオアブラススキ 16768
Sporobolus fertilis (Steud.) W. Clayton ネズミノオ 16806
Trisetum bifidum (Thunb.) Ohwi カニツリグサ 16896
Zoysia japonica Steud. シバ 16788

Araceae サトイモ科

- Acorus gramineus* Soland. セキショウ 17071
Arisaema serratum (Thunb.) Schott マムシグサ 17072
Pinellia ternata (Thunb.) Breit. カラスビシャク 17070

Cyperaceae カヤツリグサ科

- Bulbostylis densa* (Wall.) Hand. -Mazz. イトハナビテンツキ 16901
Carex biwensis Franch. マツバスゲ 16915, 16916
Carex breviculmis R. Br. アオスゲ 17377
Carex breviculmis R. Br. var. *lonchophora* (Ohwi) T. Koyama オオアオスゲ (広島県植物誌未掲載種) 16330 (星野卓二博士 同定)
Carex conica Boott ヒメカンスゲ 16327
Carex flabellata Lev. et Van. ヤマテキリスゲ 16301, 16328, 16329

- Carex forficula* Fr. et Sav. タニガワスゲ 16324
Carex heterolepis Bunge ヤマアゼスゲ 16326, 16334
Carex horikawae Okamoto ミセンアオスゲ (広島県 NT) 16298, 16325
Carex japonica Thunb. ヒゴクサ 16903
Carex lanceolata Boott ヒカゲスゲ 16320, 16321
Carex lenta D. Don ナキリスゲ 16919, 16920
Carex mitrata Franch. var. *aristata* Ohwi ノゲヌカスゲ 16322
Carex mollicula Boott ヒメシラスゲ 16908
Carex nubigena Don var. *franchetiana* Ohwi ツクシミノボロスゲ 17567
Carex pachygyna Fr. et Sav. ササノハスゲ 16922
Carex persistens Ohwi キンキカサスゲ (広島県植物誌未掲載種) 16917
Carex rhizopoda Maxim. シラコスゲ 16331, 16332
Carex rugata Ohwi クサスゲ 16318, 16323, 16333
Carex shimidzensis Franch. アズマナルコ 16890, 16891
Carex stenostachys Fr. et Sav. ニシノホンモンジスゲ 16299
Carex tristachya Thunb. var. *pocilliformis* (Boott) Kuekenth. ヒメモエギスゲ (別名コップモエギスゲ) 16300, 16319
Cyperus amuricus Maxim. チャガヤツリ 17566
Cyperus brevifolius (Rottb.) Hassk. var. *leiolepis* (Fr. et Sav.) T. Koyama ヒメクグ 16906, 16907
Cyperus difformis L. タマガヤツリ 17565
Cyperus flaccidus R. Br. ヒナガヤツリ 16904
Cyperus globosus All. アゼガヤツリ 16897, 16898
Cyperus haspan L. コアゼガヤツリ 16918
Cyperus iria L. コゴメガヤツリ 16921
Cyperus microiria Steud. カヤツリグサ 16902
Cyperus orthostachyus Fr. et Sav. ウシクグ 16892
Cyperus sanguinolentus Vahl カワラスガナ 16905, 16911, 16912
Eleocharis wichurae Bocklr. シカクイ 16923
Fimbristylis autumnalis (L.) Roem. et Schult. ヒメヒラテンツキ 16909, 16910
Lipocarpha microcephala (R. Br.) Kunth ヒンジガヤツリ 16913
Scirpus juncooides Roxb. ホタルイ 16914
Scirpus wichurae Bocklr. アブラガヤ 16899, 16900

Zingiberaceae ショウガ科

- Zingiber mioga* (Thunb.) Roscoe ミヨウガ (植栽・逸出) 17108

Orchidaceae ラン科

- Bletilla striata* (Thunb.) Reichb. fil. シラン (広島県植物誌未確認種, 環境省 NT) 17552
 観賞用に栽培されていたものの逸出と考えられる。
Calanthe discolor Lindl. エビネ (環境省 NT, 広島県 VU, 広島市準絶滅危惧) 17543
Calanthe nipponica Makino キンセイラン (環境省 VU, 広島県 CR, 広島市絶滅危惧) 15397, 15401, 17546
Calanthe reflexa Maxim. ナツエビネ (環境省 VU, 広島県 VU, 広島市準絶滅危惧) [写真]
Cymbidium goeringii (Reichb. fil.) Reichb. fil. シュンラン 17551
Goodyera foliosa (Lindl.) Benth. var. *maximowicziana* (Makino) F. Maek. アケボノシユスラン 17542
Goodyera schlechtendaliana Reichb. fil. ミヤマウズラ 17555
Liparis krameri Fr. et Sav. ジガバチソウ 15402, 17549, 17550
Liparis kumokiri F. Maek. クモキリソウ 17547
Liparis nervosa (Thunb.) Lindl. コ克蘭 17548

- Platanthera minor* (Miq.) Reichb. fil. オオバノトンボソウ 17544
Sarcochilus japonicus (Reichb. fil.) Miq. カヤラン 17545
Spiranthes sinensis (Pers.) Ames var. *amoena* (M.-Bieberson) Hara ネジバナ 17553
Tipularia japonica Matsum. ヒトツボクロ 17554

摘 要

広島市佐伯区河内地区において、植物相の調査を行い、710種の維管束植物の生育を確認した。このうち、62種は外来種であり、8種は環境省、広島県または広島市の絶滅危惧種であった。

謝 辞

現地調査では、広島市植物公園ボランティアの会員の齋藤壮一氏、金山芳之氏や広島市植物公園の山本昌生氏らの協力をいただきました。また、種の同定には、星野卓二博士、松村雅文氏の他、広島市西区在住の富沢由美子氏に協力いただきました。ここに記して感謝の意を表します。

引用文献

土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148pp. 博新館, 広島県.

- 広島県版レッドデータブック見直し検討会(編) 2004. 改訂・広島県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックひろしま 2003. 516pp. 広島県.
 広島市の生物 補遺版検討委員会(編) 2006. 広島市の生物 補遺版. 131pp. 広島市環境局環境保全課, 広島県.
 広島市植物公園(編) 2005. 高木リスト. 広島市植物公園紀要 22・23: 5-129.
 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編) 1997. 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島県.
 環境省自然保護局野生生物課(編) 2007. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドリスト(維管束植物). ネットデータ
 世羅徹哉 2009. 広島県フロラ覚書(5). 広島市植物公園紀要 27: 12-23.
 世羅徹哉・石田源次郎 2008. 広島県産ラン科植物に関する新知見. 広島市植物公園紀要 26: 53-63.

名 称	広島市植物公園紀要第 27 号
主 管 課 所 在 地	財団法人広島市動植物園・公園協会植物公園 広島市佐伯区倉重三丁目 495 〒 731-5156 TEL(082)922-3600
発行年月日	平成 21 年 3 月 31 日
印刷会社名	株式会社 ニシキプリント



広島市植物公園 紀要

第27号

2009

広島市植物公園